

もっと日本を。もっと世界へ。



令和 9 (2027) 年度

秋季・春季

# 大学院学生募集要項

博士前期課程  
博士後期課程

文学研究科

法学研究科

経済学研究科

國學院大學大学院

やむを得ず入学試験日程・出願要件・試験内容等を変更する場合があります。  
最新の情報は、[大学ホームページ](#)にてお知らせしますので、必ず出願前にご確認ください。

# 目 次

1. 本大学院の目的	1
2. 入学定員と収容定員	1
3. 本大学院のポリシー	2
4. 入学試験日程	7
5. 博士前期課程 出願資格・出願条件・選考方法	9
6. 博士後期課程 出願資格・出願条件・選考方法	16
7. 全入試制度 共通事項	19
博士前期課程 出願書類一覧	19
博士後期課程 出願書類一覧	20
中華人民共和国の大学を卒業(修了)した受験生へ [CHSIによる証明書提出]	21
入試コード一覧	22
出願・受験上の注意	23
入学検定料と納入方法	23
入学手続	24
入学辞退による学費の返還	24
学費等納付金	25
奨学金制度	25
大学院入学試験実施状況	26
8. 学位授与までの過程と選択肢	28
学位授与までの流れ	28
学部3年生の法学研究科 入学試験合格後の選択肢	28
9. 令和8年度 開講科目と担当教員一覧 (参考)	29
博士前期課程	29
博士後期課程	43
10. 出願書類の所定書式 (参考)	52

#### 【個人情報の取り扱いについて】

國學院大學では「個人情報の保護に関する法律」を遵守し、個人情報の適切な取り扱いに努め、安全管理のために必要な措置を講じています。出願書類等に記載された個人情報は、下記の利用目的の範囲内において利用し、本人の同意の無い第三者への提供はいたしません。

なお、取得した個人情報に係る業務を外部委託する場合は、学校法人國學院大學個人情報の保護に関する規程、ならびに國學院大學個人情報の保護に関する規程 (<https://www.kokugakuin.ac.jp/about/efforts/p17>) に従い、適切に管理します。

利用目的	入学試験の実施および実施に伴う各種通知、入学手続に関する諸連絡、入学予定者への各種案内資料の送付 ※その他、個人が特定できないように統計処理した個人情報を、大学における入学者選抜の調査資料として利用
データ項目	(1) 入学志願票・口述調査書に記入もしくは添付された項目 氏名、住所、電話番号、メールアドレス、性別、国籍、受験番号、生年月日、出身学校名、志願する入試制度、志望の研究科・専攻・コース、職歴、研究歴、取得資格、就業状況、保証人関連情報、出身大学における成績の状況、検定・試験の成績、写真 (2) 成績証明書、各種検定・試験の合格証明書・成績（スコア）証明書等に記載されている項目 住所、氏名、生年月日、性別、学修成績の状況、評価、検定・試験の成績および受検年月日・受験番号・個人番号
保管期間	合格者：5年、不合格者：1年

※國學院大學における個人情報の利用目的については、下記のURLを参照してください。  
<https://www.kokugakuin.ac.jp/privacy/p2>

#### 【安全保障輸出管理について】

本学では、「外国為替及び外国貿易法」等の法令に基づき、「國學院大學安全保障輸出管理に関する規程」を設け、貨物の輸出等の管理を徹底しています。このため、規制事項の対象となる学生については、希望する教育・研究内容の一部変更をお願いする場合がございます。

※上記詳細については、下記のURLをご参照ください。  
〔経済産業省〕 <https://www.meti.go.jp/policy/anpo/>

## 1. 本大学院の目的

本大学院は神道学・宗教学・文学・民俗学・史学・法学・経済学に関する専門分野を教授・研究し、自立して研究活動を行う者及び専門的な業務に従事する者の高度な研究能力と豊かな学識を涵養し、人類文化の進展に寄与することを目的とする。

## 沿 革

昭和26年(1951年)	文学研究科……………神道学専攻(修)・日本文学専攻(修)
昭和27年(1952年)	文学研究科……………日本史学専攻(修)
昭和28年(1953年)	文学研究科……………日本文学専攻(博)・日本史学専攻(博)
昭和33年(1958年)	文学研究科……………神道学専攻(博)
昭和42年(1967年)	法学研究科……………法律学専攻(修)
昭和44年(1969年)	法学研究科……………法律学専攻(博)
昭和43年(1968年)	経済学研究科……………経済学専攻(修)
昭和45年(1970年)	経済学研究科……………経済学専攻(博)
昭和50年(1975年)	各研究科(専攻)とも修士課程を博士前期課程に、 博士課程を博士後期課程にそれぞれ改称
平成18年(2006年)	文学研究科「日本史学専攻」を「史学専攻」に名称変更
平成19年(2007年)	文学研究科「日本文学専攻」を「文学専攻」に名称変更
平成20年(2008年)	文学研究科「神道学専攻」を「神道学・宗教学専攻」に名称変更

※(修)は修士課程、(博)は博士課程の略

## 2. 入学定員と収容定員

研究科名	専攻名	博士前期課程		博士後期課程		総収容定員
		修業年限2年		修業年限3年		
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	
文学研究科	神道学・宗教学専攻	20	40	4	12	52
	文学専攻	30	60	10	30	90
	史学専攻	40	80	10	30	110
	計	90	180	24	72	252
法学研究科	法律学専攻	10	20	5	15	35
	計	10	20	5	15	35
経済学研究科	経済学専攻	10	20	5	15	35
	計	10	20	5	15	35
合	計	110	220	34	102	322

### 3. 本大学院のポリシー

#### ○大学院基本研究教育方針〔大学院憲章〕

- ・学統の継承・発展と創新  
本学学術資産への理解を基に、学統の継承・発展そして新たな創造を企図する。
- ・研究倫理確立を通じた人格の陶冶  
研究倫理・法令の遵守・人権の保護を徹底し、それらを基盤とする人格の陶冶に努める。
- ・研究能力の飽くなき向上  
創新・企画・協調・遂行の資質の涵養によって、国際化に対応する研究能力の向上を図る。
- ・学知の拡大と連携  
関連領域のない学問は存在しない。よって学知の拡大を企図し、より高度な専門知識の獲得の上に、多様で柔軟な隣接領域への学知の拡大を推進する。
- ・研究成果の発信と社会還元  
学修成果の可視化、研究成果の発信を積極的に推進する。

#### ○國學院大學大学院—教育研究上の目的と方針（3つのポリシー）

- ・國學院大學大学院の教育研究上の目的  
本大学院は、法令の遵守・人権の保護を徹底して研究倫理を確立し、教学を通じて人格の陶冶に努める。それを基盤として、神道学・宗教学・文学・民俗学・史学・法学・経済学に関する専門分野を教授・研究し、自立して研究活動を行う者及び専門的な業務に従事する者の高度な研究能力と豊かな学識を涵養し、人類文化の進展に寄与することを目的とする。
- ・人材育成の方針  
國學院大學は、神道精神（主体性を保持した寛容性と謙虚さ）を教育目的の基礎に置いています。この神道精神をもとに、多様化する社会で有為な人材となるために必要な知識・技能、市民的教養と社会人力、多文化に対する適応力を備えた、主体性を持ち、自立した「大人」を育成します。

#### ・國學院大學大学院の博士課程教育実施方針（3つのポリシー）

##### ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）

博士前期課程においては、研究科で定める教育課程の単位を修得し、専門的知識を自らのものとするとともに、主体的に研究課題を定め、これに関する諸研究の検討を行い、新たな知見を加えた修士論文リサーチペーパーあるいはプロジェクト・ペーパーを提出し、かつ口述試験において的確な応答を行い、十分な学力があると認定された者に、その専攻分野を示す修士号を授与する。

博士後期課程においては、研究科で定める教育課程の単位を修得するとともに、その分野の研究動向を理解した上で、独自の見解を含む博士論文を提出し、かつ口述試験において的確な応答を行い、その分野で継続的な研究が行い得ると認定された者に、その専攻分野を示す博士号を授与する。また、自ら定めた課題に対する研究が独創的であり、新境地を拓いたと認められる博士論文を提出し、かつ口述試験において博士後期課程の所定単位修得者と同等の学力があると認定された者に対しても、その専攻分野を示す博士号を授与する。

##### カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施方針）

大学院の設置目的を実現するために文学、法学、経済学の3研究科を置き、大学院学生が、学知を主体的に選択して、自己の研究に取り組む能力を涵養し、研究指導・方法の多様性と、自己の意志に基づく自由な選択を保証することを方針として教育課程を編成する。この方針に基づいて、全研究科を通じて開講科目を全セメスター化とし、博士前期課程と博士後期課程とを一貫させた教育課程として設ける。また、各研究科ごとに演習、論文指導演習、研究指導、専門講義科目あるいはコースワーク科目、アカデミック・ライティングなどを設置するとともに、複数の教員による指導制を確立する。

##### アドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）

大学院ならびに各研究科設置の目的と合致する、積極的な目的意識や志向性を有するとともに、研究科の学修ならびに研究に必要な基礎的な知識や能力などを備えていることを受入れ方針としている。また、学士課程（学部）修了者を対象とする一般入学に加え、学士課程（学部）において優秀な成績を修めている多様な入学制度を設けることで、大学院における学修・研究活動の活性化や視点の拡大をはかることを方針としている。

#### ○文学研究科—教育研究上の目的と方針（3つのポリシー）

##### ・文学研究科の教育研究上の目的

文学研究科は、日本文化の真髄を理解し、かつ幅広い知識をもち、新しい価値観を創造し人類文化の発展に寄与することができる、優れた研究者及び専門的な業務に従事する者を養成することを目的とする。

##### 神道学・宗教学専攻

日本古来の伝統宗教である神道を中心とする日本の伝統文化に関して、深い歴史的思想神学的な理解をもち、内外の

諸宗教及びそれに関連する宗教文化の意義と役割を比較検討できる、幅広い人材を育成すること。

前記の大綱に基づき、博士前期課程においては、各自が研究課題を定め、そのために必要な基礎学力を身につけ、先行研究を理解し、また自らの課題に必要な研究方法を身につけた人材を育成することを目的とする。

博士後期課程においては、博士前期課程で身につけた能力、あるいはそれと同等の能力を前提として、関係する学問領域で成果を認められる研究力を身につけた研究者、教育者、及び専門的業務に従事する者など幅広い人材を育成することを目的とする。

#### 文学専攻

博士前期課程においては、学部教育を基礎とし、文化・文学・言語に関する研究の深化・発展を図り、その能力を有する研究者、及び豊かな学識と教育能力をもつ教育者をはじめとした幅広い人材を養成し、また専門的業務に従事する社会人を再教育することを目的とする。

博士後期課程においては、博士前期課程での学修及び研究を基礎とし、文化・文学・言語に関する高度な研究の深化・発展を図り、その能力を有する研究者、及び豊かな学識と高度な教育能力をもつ教育者を養成することを目的とする。

#### 史学専攻

博士前期課程においては、学部教育を基礎とし、国内外の歴史学・考古学・地理学・博物館学及び美学美術史の幅広い分野に関して研究の深化・発展を図り、各種教育研究機関で研究教育に携わる優れた人材を育成すること、併せて社会人を積極的に受け入れ、幅広い人材を養成することを目的とする。

博士後期課程においては、博士前期課程での学修及び研究を基礎とし、国内外の歴史学等に関する高度な専門的知識と分析力を用いて、先端的問題を総合的に分析・判断し社会的課題の解決に貢献する者、及び専攻分野に関し卓越した独創的研究を行う能力をもつ研究者を養成することを目的とする。

### ・文学研究科の博士課程教育実施方針（3つのポリシー）

#### 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

文学研究科設置目的を実現するために、各専攻において編成されている教育課程を履修し、所定の単位を修得するとともに、論文を提出し、かつ口述試験において的確な応答を行い、十分な学力があると認定された者に、その専攻分野を示す学位を授与する。

また、自ら定めた課題に対する研究が独創的であり、新境地を拓いたと認められる博士論文を提出し、かつ口述試験において博士後期課程の所定単位修得者と同等の学力があると認定された者に対しても、その専攻分野を示す博士の学位を授与する。

#### 神道学・宗教学専攻

博士前期課程においては、文学研究科設置目的を実現するために編成されている神道学・宗教学専攻の教育課程を履修し、所定の単位を修得するとともに、神道学ならびに関係諸学にもとづく研究課題を自ら定め、これに関する先行研究の検討を行い、資史料について専門的スキルと実証的な研究姿勢を身につけ、柔軟な発想と論理的思考での確な解釈や分析を踏まえて新たな知見を加えた修士論文を提出し、かつ口述試験において的確な応答を行い、十分な学力があると認定された者には修士（神道学）の学位を、宗教学ならびに関係諸学にもとづく研究課題を自ら定め、これに関する先行研究の検討を行い、資史料について専門的スキルと実証的な研究姿勢を身につけ、柔軟な発想と論理的思考での確な解釈や分析を踏まえて新たな知見を加えた修士論文を提出し、かつ口述試験において的確な応答を行い、十分な学力があると認定された者には修士（宗教学）の学位を、それぞれ授与する。なお、修士（神道学）の学位と修士（宗教学）の学位を同時に授与することはしない。

博士後期課程においては、神道学・宗教学専攻の教育課程を履修し、所定の単位を修得するとともに、神道学、関係諸学、および研究対象に関する先行研究を踏まえて新知見を加えた完成度の高い博士論文を提出し、口述試験においても的確な応答を行い、研究者として自立できる学力があると認定された者には博士（神道学）の学位を、宗教学、関係諸学、および研究対象に関する先行研究を踏まえて新知見を加えた完成度の高い博士論文を提出し、口述試験においても的確な応答を行い、研究者として自立できる学力があると認定された者には博士（宗教学）の学位を、それぞれ授与する。なお、博士（神道学）の学位と博士（宗教学）の学位を同時に授与することはしない。また、神道学ならびに関係諸学を踏まえて自ら定めた課題に対する研究が独創的であり、新境地を拓いたと認められる博士論文を提出し、口述試験において博士後期課程の所定単位修得者と同等の学力があると認定された者に対して博士（神道学）を授与し、宗教学ならびに関係諸学を踏まえて自ら定めた課題に対する研究が独創的であり、新境地を拓いたと認められる博士論文を提出し、口述試験において博士後期課程の所定単位修得者と同等の学力があると認定された者に対して博士（宗教学）の学位を授与する。

#### 文学専攻

博士前期課程においては、文学研究科設置目的を実現するために編成されている文学専攻の教育課程を履修し、所定の単位を修得するとともに、専攻分野において、自ら研究課題を定め、これに関する先行研究の検討を行い、資史料について専門的スキルと実証的な研究姿勢を身につけ、柔軟な発想と論理的思考での確な解釈や分析を踏まえて新たな知見を加えた修士論文を提出し、かつ口述試験において的確な応答を行い、十分な学力があると認定された者に、日本文学、日本語学、中国文学、高度国語・日本語教育の各コースにおいては修士（文学）の学位を授与する。伝承文学コースにおいては、上記の者には修士（文学）の学位を、また民俗学を専攻分野とし、上記に該当する者には修士（民俗学）の学位をそれぞれ授与する。

博士後期課程においては、文学専攻の教育課程を履修し、所定の単位を修得するとともに、先行研究を踏まえて新知

見を加えた完成度の高い博士論文を提出し、口述試験においても的確な応答を行い、研究者として自立できる学力があると認定された者に、日本文学、日本語学、中国文学、高度国語・日本語教育の各コースにおいては博士（文学）の学位を授与する。伝承文学コースにおいては、上記の者には博士（文学）の学位を、また民俗学を専攻分野とし、上記に該当する者には博士（民俗学）の学位をそれぞれ授与する。また、自ら定めた課題に対する研究が独創的であり、新境地を拓いたと認められる博士論文を提出し、口述試験において博士後期課程の所定単位修得者と同等の学力があると認定された者に対しても、日本文学、日本語学、中国文学、高度国語・日本語教育の各コースにおいては博士（文学）の学位を授与する。伝承文学コースにおいては、上記の者には博士（文学）の学位を、また民俗学を専攻分野とし、上記に該当する者には博士（民俗学）の学位をそれぞれ授与する。

#### 史学専攻

博士前期課程においては、文学研究科設置目的を実現するために編成されている史学専攻の教育課程を履修し、所定の単位を修得するとともに、専攻分野において、自ら研究課題を定め、これに関する先行研究の検討を行い、資料について専門的スキルと実証的な研究姿勢を身につけ、柔軟な発想と論理的思考で的確な解釈や分析を踏まえて新たな知見を加えた修士論文を提出し、かつ口述試験において的確な応答を行い、十分な学力があると認定された者に、修士（歴史学）の学位を授与する。

博士後期課程においては、史学専攻の教育課程を履修し、所定の単位を修得するとともに、先行研究を踏まえて新知見を加えた完成度の高い博士論文を提出し、口述試験においても的確な応答を行い、研究者として自立できる学力があると認定された者に、博士（歴史学）の学位を授与する。また、自ら定めた課題に対する研究が独創的であり、新境地を拓いたと認められる博士論文を提出し、口述試験において博士後期課程の所定単位修得者と同等の学力があると認定された者に対しても、博士（歴史学）の学位を授与する。

#### 教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

文学研究科設置目的を実現するために、各専攻内に専門分野に基づいたコースを設けることによって、学生の研究に資することを方針としている。

#### 神道学・宗教学専攻

博士前期課程においては、入学年度前期に研究倫理教育を課すとともに、コース横断のテーマを扱う導入教育科目を開講し、広い視点と学識を涵養する。また、専攻分野に関する高度な研究能力と専門的業務を担うための能力を培うために各専門分野の演習を設け、複数の指導教員による資料の読解・分析ならびに実地調査などの研究指導を行う。さらに、修士論文とその他の研究論文のまとめ方を修得するために、複数の指導教員による論文指導演習を実施する。

博士後期課程においては、専攻分野に関する自立した研究活動を行う能力と専門的業務を担うためのより高度な能力を培うために、専門分野の演習と論文指導演習を編成する。また、各年度に研究計画と研究進捗状況、ならびに研究業績の報告を義務付け、博士論文の作成を着実に進め所定の修業年限内に提出できるよう指導と督励を行う。

#### 文学専攻

博士前期課程においては、入学年度前期に研究倫理教育を課すとともに、日本文学（高度国語教育含む）、日本語学、伝承文学、中国文学、日本語教育の各コースにおいて、横断のテーマを扱う導入教育科目を開講し、広い視点と学識を涵養する。また、専攻分野に関する高度な研究能力と専門的業務を担うための能力を培うために各専門分野の演習を設け、各コースごとに複数の指導教員による資料の読解・分析ならびに実地調査などの研究指導を行う。さらに、修士論文とその他の研究論文のまとめ方を修得するために、各コースごとに複数の指導教員による論文指導演習を実施する。

博士後期課程においては、専攻分野に関する自立した研究活動を行う能力と専門的業務を担うためのより高度な能力を培うために、専門分野の演習と論文指導演習を編成する。また、各年度に研究計画と研究進捗状況、ならびに研究業績の報告を義務付け、博士論文の作成を着実に進め所定の修業年限内に提出できるよう指導と督励を行う。

#### 史学専攻

博士前期課程においては、入学年度前期に研究倫理教育を課すとともに、コース横断のテーマを扱う導入教育科目を開講し、広い視点と学識を涵養する。また、専攻分野に関する高度な研究能力と専門的業務を担うための能力を培うために各専門分野の演習を設け、複数の指導教員による資料の読解・分析ならびに実地調査などの研究指導を行う。さらに、修士論文とその他の研究論文のまとめ方を修得するために、複数の指導教員による論文指導演習を実施する。

博士後期課程においては、専攻分野に関する自立した研究活動を行う能力と専門的業務を担うためのより高度な能力を培うために、専門分野の演習と論文指導演習を編成する。また、各年度に研究計画と研究進捗状況、ならびに研究業績の報告を義務付け、博士論文の作成を着実に進め所定の修業年限内に提出できるよう指導と督励を行う。

#### 入学者受入れ方針（アドミッション・ポリシー）

文学研究科の設置目的である「日本文化の神髄を理解し、かつ幅広い知識をもち、新しい価値観を創造し人類文化の発展に寄与」したいという目的意識や志向性を有する者を対象とする。

#### 神道学・宗教学専攻

神道学・宗教学専攻においては、その資質として、神道文化をはじめ国内外の宗教文化に関する幅広い知識と具体的な研究課題をもち、かつその学修・研究に必要な問題発見能力、知識、技能などを備えていることを受入方針としている。

さらに社会人や外国人を対象とした入学者選抜制度も設け、大学院における学修・研究活動の活性化や視点の拡大などをはかることを方針としている。

以上に加え、博士課程前期においては、学部教育における幅広い教養と基礎的な専門教育を修得した者を受け入れる。博士後期課程においては、博士前期課程修了程度の能力を有し、専門領域において独自の研究計画に基づく継続的研究を志向し、それを遂行するに足る能力と技能を備えた者を受け入れる。

#### 文学専攻

文学専攻においては、その資質として、日本文学、日本語学、中国文学、伝承文学、高度国語・日本語教育の各コースに関する幅広い知識と具体的な研究課題を持ち、かつその学修・研究に必要な問題発見能力、知識、技能などを備えていることを受入方針としている。

さらに社会人や外国人留学生を対象とした入学者選抜制度も設け、大学院における学修・研究活動の活性化や視点の拡大などをはかることを方針としている。

以上に加え、博士前期課程においては、学部教育における幅広い教養と基礎的な専門教育を修得した者を受け入れる。博士後期課程においては、博士前期課程修了程度の能力を有し、専門領域において独自の研究計画に基づく継続的研究を志向し、それを遂行するに足る能力と技能を備えた者を受け入れる。

#### 史学専攻

史学専攻においては、日本史学および歴史地理学・外国史学・考古学・博物館学・美学美術史の各コースに関する幅広い知識と高い研究意欲ならびに具体的な研究課題を持ち、かつその学修・研究に必要な問題発見能力、知識、技能などを備えている入学者を受け入れる。

博士前期課程では、学部教育において幅広い教養と基礎的な専門教育を修得し、さらなる専門的研究をおこなう意欲と知識・技能を備えた入学者を受け入れる。

博士後期課程においては、すぐれた研究論文を提出して修士学位を修得し、専門領域において独自の研究計画に基づく研究を継続する意欲とそれを遂行するに足る能力と技能を備え、所定の修業年内に博士論文を提出して博士学位を得ようとする目的を持った入学者を受け入れる。また、それと同等の学力と強い研究意欲をもち、博士学位授与に相応しい研究業績を有する者を受け入れる。

### ○法学研究科－教育研究上の目的と方針（3つのポリシー）

#### ・法学研究科の教育研究上の目的

法学研究科の博士前期課程においては、学部教育を基礎とし、法学及び政治学の専攻分野に関し、独自の観点から研究を行う能力をもつ研究者、及び専門分析能力を用いて先端的問題を総合的に分析・判断し、社会的諸問題の解決に貢献する者を養成することを目的とする。

法学研究科の博士後期課程においては、博士前期課程での学修及び研究を基礎とし、法学及び政治学の専攻分野に関し、高度かつ独創的研究を行う能力をもつ研究者を養成することを目的とする。

#### ・法学研究科の博士課程教育実施方針（3つのポリシー）

##### 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

博士前期課程においては、学部教育における幅広い教養と基礎的な専門教育を踏まえ、法学または政治学についての高度な専門知識を十分に自らのものとし、主体的で独自の観点から現代社会における法的・政治的事象を分析する能力を示す成果をあげた者に対し、修士の学位を授与する。

博士後期課程においては、博士前期課程で修得した高度な専門知識と主体的で独自の姿勢に加えて、自らの研究成果を纏めるための研究計画を立案し、着実に実行することができ、かつ、実行のために必要とされる資料収集、読解能力、語学力及び情報処理技術などを身につけ、今後、専攻分野において独創的研究を継続的にを行い、後進を指導する能力を身につけたことを示す成果をあげた者に対し、博士の学位を授与する。

##### 教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

博士前期課程においては、学生が専門知識を修得し、主体的で独自の観点から現代社会における法的・政治的事象を分析する能力を獲得できるように、指導教員が担当する授業科目、研究指導及び論文指導演習を開設する。加えて、関連諸領域における法的・政治的な諸問題についても専門知識を修得できるように、指導教員以外が担当する授業科目を開設する。

博士後期課程においては、学生が専攻分野に関するより高度な専門知識を修得し、より独創的かつ自立的な研究活動に必要とされる高度な専門的技術を含めた研究能力を獲得できるように、指導教員が担当する授業科目、研究指導及び論文指導演習を開設する。

なお、新たに生起する問題や先進的な研究動向に応じた学修の機会を確保するために、特殊研究（演習）を開設する。

##### 入学者受入れ方針（アドミッション・ポリシー）

博士前期課程においては、学部教育における幅広い教養と基礎的な専門教育に基づいて、価値観と利害関係が多様化する現代社会に生起する諸問題を法学または政治学の観点から総合的に分析・判断し、それらの解決に主体的に関わりようとする積極的な姿勢を持つ者を受け入れる。とりわけ、社会人としての経験を踏まえて具体的な研究課題を見いだしている者を受け入れる。

博士後期課程においては、博士前期課程修了程度の能力を有し、加えて専門領域においてさらなる独自の研究計画に基づき継続的研究を志向し、それを遂行するに足る能力と技能を備えた者を受け入れる。

## ○経済学研究科—教育研究上の目的と方針（3つのポリシー）

### ・経済学研究科の教育研究上の目的

経済学研究科の博士前期課程においては、学部教育を基礎とし、経済及び経済学に関する専門的知識と分析力を用いて、先端的問題を総合的に分析・判断し社会的諸問題の解決に貢献する者、及び専攻分野に関し独自の観点から研究を行う能力をもつ研究者を養成することを目的とする。

経済学研究科の博士後期課程においては、博士前期課程での学修及び研究を基礎とし、経済及び経済学に関する高度な専門的知識と高度な分析力を用いて、先端的問題を総合的に分析・判断し社会的諸問題の解決に貢献する者、及び専攻分野に関し卓越した独創的研究を行う能力をもつ研究者を養成することを目的とする。

### ・経済学研究科の博士課程教育実施方針（3つのポリシー）

#### 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

博士前期課程においては、学部教育における経済と経済学に関する基礎力と日本経済に関する知見を踏まえ、経済学、経営学、会計学または税務に関わる専門分野について十分な学力があると認定された者に対して、修士の学位を授与する。

博士後期課程においては、博士前期課程で求められた最先端の専門的知識に加えて、理論的革新や新しい知見の発見などの独創的研究を行い、今後、専攻分野において研究・教育する能力を身につけたことを示すことができる成果をあげた者に対して、博士の学位を授与する。

#### 教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

博士前期課程においては、指導教員が担当する授業科目および論文指導を通じて、自己の専門領域における専門的知識を学ぶことと並行し、自己の専門領域の関連諸領域について授業科目の履修を通して学ぶこと。さらにアカデミック・コース、キャリア・コースの各コースを選択した者は、当該コースの選択必修科目から所定の単位数の科目を修得すること。

博士後期課程においては、指導教員が担当・指定する授業科目を修得するとともに、指導教員のもとで研究指導を受けること。

#### 入学者受入れ方針（アドミッション・ポリシー）

博士前期課程、博士後期課程ともに、本学の建学の精神、そして本研究科が定める学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）と教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）を十分に理解して、以下の資質・志向をもった者を受け入れる。

博士前期課程においては、学部教育における経済と経済学に関する基礎力と日本経済に関する知見に基づいて、以下いずれかの志向を持った者を受け入れる。

- (1) アカデミック・コースでは、博士後期課程への進学を目指す者や、博士前期課程修了後に専門的で深い学識を必要とする職種を目指す者。
- (2) キャリア・コースでは、博士前期課程を修了し、税理士などの資格取得を目指す者。

博士後期課程においては、博士前期課程における経済と経済学に関する専門的知見に基づいて、博士の学位を取得し、課程修了後は研究職を目指す者。

## 4. 入学試験日程

### 秋季試験

研究科	課程	区分	専攻	募集人員	出願期間	書類選考結果発送	試験日	合否発表(発送日)	手続期間
文学	前期	一般	神道学・宗教学	10名	令和8年 8月24日(月) } 9月4日(金)	9月24日(木)	10月3日(土)	10月13日(火)	【一次手続】 令和8年 10月16日(金) } 10月23日(金)  【二次手続】 令和9年 2月25日(木) } 3月4日(木)
			文学	15名					
			史学	20名					
		外国人	神道学・宗教学	若干名					
			文学	若干名					
			史学	若干名					
	社会人	神道学・宗教学	若干名						
		文学	若干名						
		史学	若干名						
	学内成績選考	神道学・宗教学	若干名						
		文学	若干名						
		史学	若干名						
法学		一般	5名	5名 } 若干名 } 若干名 } 若干名	9月18日(金)	9月25日(金)	【一次手続】 令和8年 9月29日(火) } 10月6日(火)  【二次手続】 令和9年 2月25日(木) } 3月4日(木)		
		外国人	若干名						
		社会人	若干名						
		学内成績選考	若干名						
		学内論文選考	若干名						
経済学		一般	5名	5名 } 若干名 } 若干名 } 若干名	9月18日(金)	9月25日(金)	【一次手続】 令和8年 9月29日(火) } 10月6日(火)  【二次手続】 令和9年 2月25日(木) } 3月4日(木)		
		外国人	若干名						
		社会人	若干名						
		学内推薦	若干名						

出願・手続受付場所 ■ 大学院事務課（渋谷キャンパス）

出願・手続受付時間 ■ 9：00～12：50、13：50～16：00（土日・祝日を除く）

合 否 発 表 ■ 郵送による合否通知の発送および大学HP(大学院入試情報)上での合格者受験番号掲出(書類選考結果は郵送による通知のみ)

※電話・メール等によるお問い合わせには応じられません。

※出願書類・入学手続書類の郵送を希望する場合は「速達簡易書留」もしくは「レターパックプラス(赤)」をご使用ください。なお、郵送による受付はいずれも各締切日の前日までの消印有効とします。

※海外から「春季試験」への出願・受験を行った場合、授業開始日までに在留資格の取得ができない可能性があるため、日本における在留資格を保持していない外国人留学生には「秋季試験」の受験を推奨しております。

身体機能の障がいや疾病等により、受験・就学に際して配慮を必要とする場合は、出願開始日の30日前までに、必ず大学院事務課（03-5466-0142）にご相談ください。

# 春季試験

研究科	課程	区分	専攻	募集人員	出願期間	書類選考結果発送	試験日	合否発表(発送日)	手続期間
文学	前期	一般	神道学・宗教学	7名	令和9年 1月7日(木) ) 1月14日(木)	1月29日(金)	2月13日(土)	2月19日(金)	
			文学	9名					
			史学	9名					
		外国人	神道学・宗教学	若干名					
			文学	若干名					
			史学	若干名					
	社会人	神道学・宗教学	若干名						
		文学	若干名						
		史学	若干名						
	学内成績選考	神道学・宗教学	若干名						
		文学	若干名						
		史学	若干名						
後期	一般	神道学・宗教学	3名						
		文学	8名						
		史学	8名						
	外国人	神道学・宗教学	若干名						
		文学	若干名						
		史学	若干名						
社会人	神道学・宗教学	若干名							
	文学	若干名							
	史学	若干名							
法学	前期	一般	5名	令和9年 1月15日(金) ) 1月22日(金) *共通テスト実施日 1月16日(土)を除く		2月20日(土)	2月24日(水)		
		外国人	若干名						
		社会人	若干名						
		学内成績選考	若干名						
		学内論文選考	若干名						
	後期	一般	5名						
外国人		若干名							
経済学	前期	一般	5名						
		外国人	若干名						
		社会人	若干名						
		学内推薦	若干名						
	後期	一般	5名						
		外国人	若干名						
		社会人	若干名						

出願・手続受付場所 ■ 大学院事務課 (渋谷キャンパス)

出願・手続受付時間 ■ 9:00~12:50、13:50~16:00 (日曜・祝日、1月16日(土)を除く)

合 否 発 表 ■ 郵送による合否通知の発送および大学HP(大学院入試情報)上での合格者受験番号掲出(書類選考結果は郵送による通知のみ)

※電話・メール等によるお問い合わせには応じられません。

※出願書類・入学手続書類の郵送を希望する場合は「速達簡易書留」もしくは「レターパックプラス(赤)」をご使用ください。なお、郵送による受付はいずれも各締切日の前日までの消印有効とします。

※上記スケジュールに準じて、大学院再入学試験を実施いたします。詳細は11月までに大学HP(大学院入試/大学院学生募集要項)上で公開する、再入学試験の出願要項をご参照ください。

身体機能の障がいや疾病等により、受験・就学に際して配慮を必要とする場合は、出願開始日の30日前までに、必ず大学院事務課(03-5466-0142)にご相談ください。

## 5. 博士前期課程

### 出願資格

以下(1)～(8)のいずれかの要件を満たす者(出願年度3月末日までにその見込みのある者も含む)

- (1) 学士の学位を有する者
- (2) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を履修することにより、当該外国の学校における16年の課程を修了した者
- (3) 日本国内において、文部科学大臣が別に指定する外国の大学の課程(当該外国の学校教育制度に位置付けられた教育施設の課程であって、その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る)を修了した者
- (4) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る)において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (5) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であること、またその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 本大学院が、大学に3年以上在学し、所定の単位を優れた成績をもって修得したと認めた者
- (8) 本大学院において、個別の入学資格審査(下記参照)により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者

上記(8)に定める個別の入学資格審査は、以下の要領で実施する。

#### 令和9年度 入学資格審査 スケジュール [対象：博士前期課程]

	出願期間	試験日
秋季試験	6月27日(土)～7月10日(金)	7月22日(水)
春季試験	12月5日(土)～12月11日(金)	1月7日(木)

\*書類審査による選考となる場合があります。

出願受付場所 ■ 大学院事務課 (渋谷キャンパス)

出願受付時間 ■ 9:00～12:50、13:50～16:00 (日曜日・祝日を除く)

審査料及び出願書類 ■

① 審査料：10,000円

※P.23の証明書発行サービス(オンライン)より、「入学資格審査 審査料」を納入してください。

② 入学資格審査調査書(本学所定用紙⑩)

③ 卒業証明書(最終学歴)の原本

④ 成績証明書(最終学歴)の原本

⑤ 宛名記載済みの返信用封筒(長形3号、切手不要)

⑥ [外国籍の方のみ] 日本語能力試験N1の合格証明、或いは日本留学試験・日本語の成績(260点以上)証明

⑦ [外国籍の方のみ] 旅券及び在留カードのコピー

経済学研究科の入学資格審査を希望する「外国の大学を卒業し、学士の学位を有していない」者は、追加で以下2点の書類を提出すること。

⑧ 自らが出身大学に提出した卒業論文または同様の趣旨の論文(thesis)

※英語または日本語以外の言語で執筆されている場合は、日本語または英語の翻訳を付すこと(全文)。なお、オリジナルのものに加筆修正を加えてはならない。卒業論文を執筆していない場合は、卒業した大学で学んだことをまとめた論文を作成し、提出すること(日本語で執筆し、A4横書きWord使用、図表や脚注も含めて12,000字以上とする。なお、本形式や字数は國學院大學経済学部における卒業論文の指定に準じている)。

⑨ 自らの大学で学んだことと、國學院大學大学院経済学研究科で研究したい研究テーマとの関連性をまとめた小論文(essay) ※日本語で執筆し、A4横書きWord使用、4,000字以上とする。

上記2点について、これから論文および小論文を作成する場合、ひょう窃をはじめとする不正な行為が発覚した場合、合格を取り消すこともあるので、重々承知の上で作成すること。

※出願の研究科によって、別途書類提出を求める場合がありますので、予め大学院事務課にお問い合わせください。

## 出願条件

### 文学研究科

#### ●入試制度別出願条件

博士前期課程の出願資格を満たしている者は、以下いずれかの入試を受験することができる。

入試制度（専攻）	出願対象及び条件
一般入試	博士前期課程の出願資格を満たしている者 ※次に続く「外国籍で、外国の教育機関で教育を受けた者」は外国人入試を受験してください。
外国人入試	対象：外国籍で、外国の教育機関で教育を受けた者 条件：日本語能力試験N1合格、或いは日本留学試験・日本語の成績260点以上 ※日本国内の大学或いは大学院を卒業した場合、一般入試を受験してください。
社会人入試	入学時において、以下のいずれかに該当し、出願年度に学部または大学院に在学していない者 ①学士の学位取得後2年以上を経過し、公的機関・企業等の職員として勤務している者 ②学士の学位取得後5年以上の者
学内成績選考入試	神道学・宗教学専攻 対象：全学部4年生 条件：卒業予定年次前期までの要卒単位のGPAが、神道文化学部は2.8以上、他学部は3.0以上、かつ卒業論文履修者あるいは卒業論文・演習論文提出者
	文学専攻 対象：文学部・神道文化学部・観光まちづくり学部4年生 条件：卒業予定年次前期までの要卒単位のGPAが3.0以上、かつ卒業論文または演習・ゼミ論文提出者
	史学専攻 対象：文学部・神道文化学部・観光まちづくり学部4年生 条件：卒業予定年次前期までの要卒単位のGPAが3.0以上、かつ卒業論文履修者あるいは卒業論文・演習論文提出者

※GPA値の算出方法が本学基準と異なる場合は、下記のとおり本学基準に換算して評価する。

#### ◆GPA値の換算について

基準点	合否	QPI
100～90	合格	4.0
89～80		3.0
79～70		2.0
69～60		1.0
59～0	不合格	0.0

GPA値は、登録科目の単位数と成績評価ごとに定められたQPI（Quality Point Index）を用い、登録した各科目の単位数にQPIを乗じたものの合計を、登録した科目の単位数の合計で割ることで求められる。

$$\text{GPA計算式} = \frac{(\text{GPA対象科目のQPI} \times \text{単位数}) \text{の総和}}{\text{GPA対象科目の単位数合計}}$$

※卒業要件単位(要卒単位)に含まれない科目は、GPAの算出対象外。

選考方法

文学研究科

●全入試制度において「書類選考」及び「口述試験」により選考

※口述試験は対面で実施します。実施要領・実施時間は、書類選考結果通知に同封します。

一般入試、外国人入試、社会人入試の課題一覧（秋季・春季共通）

※出願時の提出書類については、「出願書類一覧（P.19）」をご確認のうえ、不足がないようにご提出ください。

神道学・宗教学専攻

分野	課題及び作成要領	字数	書式他
全分野	自身の研究テーマに関する先行研究の概況について記述してください。記述にあたっては、学術論文を3点以上あげ、その内容と出典を明示してください。 ※解答に剽窃や捏造が認められる場合（生成AIによるものを含む）、研究倫理上の不正行為として解答全体を無効とします。	3,000～4,000 字程度	A4横書き・32 字×25行、 14ポイントを 基本とする。

文学専攻

コース・分野	課題及び作成要領	字数	書式他
日本文学	各自の専攻分野の中から一つの作品を取り上げ、通時的展開（前後の作品を含めた文学史的な流れ）および共時的関係（同時代の隣接ジャンルや時代背景）を踏まえて、その特質について説明しなさい。	4,000字程度	A4横書き・32 字×25行、 14ポイントを 基本とする。
日本語学	関心のある論文を1つ挙げて、内容の紹介および批評をしなさい。	4,000字程度	
中国文学	あなたが研究しようとするテーマの研究史について、具体的な論文・著作およびその内容を踏まえて論述しなさい。	4,000字程度	
伝承文学	あなたの研究課題において、最も重要と考える論文の一つを取り上げ、本文を引用しながら首肯すべき点と見直すべき点を具体的に論述しなさい。	4,000字程度	
高度国語教育	あなたの研究課題について国語教育学における意義を論述しなさい（想定する学習者・目標・具体的な学習活動・学習材等の観点を必要に応じてふまえること）。	4,000字程度	
高度日本語教育	国内または海外の日本語教育の内容・状況（または歴史）について、関心のある事柄・事例をあげ、それについて略述するとともに、どうして／どのような関心をもつのかを述べなさい。その際、関係する書物か論文1～2篇をあげ、その内容に触れること。また、できるだけ、自身の研究したい研究テーマと関連づけて述べること。	4,000字程度	

史学専攻

コース	課題及び作成要領	字数	書式他
全コース	<ul style="list-style-type: none"> <li>冒頭に研究テーマを記し、次の行に氏名を記し、1行開けて本文を書いてください。本文は節を3以上設定し、それぞれの節に番号を付け、題名を付けてください。</li> <li>研究の目的、研究の構想と方法、使用する資料、研究の計画、予想される研究成果と展望などを記してください。</li> </ul>	3,000～4,000 字程度	A4横書き・32 字×25行、 14ポイントを 基本とする。

## 選考方法

**法学研究科** 研究コース／公務員養成コース

### 出願に当たっての注意事項

- ①研究コースと公務員養成コースのいずれかを選択すること。
- ②研究コース・公務員養成コース共に、別表1左欄に掲げる専門科目から自分が専攻する科目を一つ選択すること（別表1左欄に掲げていない専門科目については、学生募集を実施しない）。
- ③指導を希望する教員がいる場合には、別表1右欄を参照し、研究計画書に記入すること（指導教員の決定に際しては、受験生の研究計画の他、指導教員の専門領域・指導の負担等を考慮するため、希望とは異なる教員が指導教員となることもある）。

### 飛び入学制度・3年次入試先取り履修制度について

研究コース・公務員養成コース共に、一般・学内成績選考・学内論文選考入試では、学部3年次在学中に合格した者が、3年次終了後卒業を経ず直ちに大学院に入学できる「飛び入学制度」と、一年間入学を保留するとともに学部4年次在学中に法学研究科の授業を履修し、翌年4月の入学後に履修済み単位としての認定を受ける「3年次入試先取り履修制度」（10単位まで）を利用することができる（P.28「学部3年生の法学研究科 入学試験合格後の選択肢」の図を参照）。

## ●一般入試 「筆記試験（2科目）」、「口述試験」 [飛び入学制度・先取り履修制度利用可]

### 学部3年次在学者の受験資格について

出願時に大学の学部3年次に在学している者は、学部2年次終了までに76単位以上を修得していること。

筆 記 試 験	口述試験 ※2
9 : 30 ~ 11 : 30	13 : 00 ~
① 希望する専攻分野の受験必須科目 ② 外国語または専門科目(選択)のいずれかを選択 [外国語] 英語・独語・仏語のうち1科目（ただし母国語は選択不可）。 英和・独和・仏和辞典のうち1冊のみ持込可、法律用語辞典・電子辞書・電子機器の利用は不可。 [専門科目(選択)] 各自専攻する法律部門または政治部門から必須科目以外の1科目を選択。ただし、必須科目と関連する科目を選択することが望ましい。 【法律部門※1】 憲法、国際法、刑法、民法、行政法、国際政治、国際関係史、刑事政策、刑事訴訟法、商法、労働法、民事訴訟法、外国法、日本法制史、西洋法制史 【政治部門】 政治学、行政学、日本政治史、西洋政治史、日本政治思想史、西洋政治思想史、国際政治、国際関係史	希望する専攻分野について行う

※1 法律部門の専門科目受験者には、試験当日に六法を貸与する。

※2 口述試験の開始時間は前後することがある。

## ●外国人入試 「筆記試験（2科目）」、「口述試験」

筆 記 試 験	口述試験 ※2
9 : 30 ~ 11 : 30	13 : 00 ~
①希望する専攻分野の受験必須科目 ②外国語または専門科目(選択)のいずれかを選択 [外国語] 日本語・英語・独語・仏語のうち1科目。 日本語の辞書は持込不可、英和・独和・仏和辞典のうち1冊のみ持込可。 法律用語辞典・電子辞書・電子機器の利用は不可。 [専門科目(選択)] 各自専攻する法律部門または政治部門から必須科目以外の1科目を選択。ただし、必須科目と関連する科目を選択することが望ましい。 【法律部門※1】 憲法、国際法、刑法、民法、行政法、国際政治、国際関係史、刑事政策、刑事訴訟法、商法、労働法、民事訴訟法、外国法、日本法制史、西洋法制史 【政治部門】 政治学、行政学、日本政治史、西洋政治史、日本政治思想史、西洋政治思想史、国際政治、国際関係史	希望する専攻分野について行う

※1 法律部門の専門科目受験者には、試験当日に六法を貸与する。

※2 口述試験の開始時間は前後することがある。

【別表1】

専門科目	受験必須科目	指導教員	専門科目	受験必須科目	指導教員
法律部門					
外国法	外国法	捧 剛	民法	民法	佐藤 秀勝
日本法制史	日本法制史	長又 高夫			岡田 康夫
憲法	憲法	植村 勝慶	商法	商法	廣瀬 美佳
		福岡 英明			鈴木 達次
		平地 秀哉	民事訴訟法	民事訴訟法	森川 隆
行政法	行政法	川合 敏樹	労働法	労働法	佐古田真紀子
国際法	国際法	宮内 靖彦	政治部門		
刑法	刑法	甘利 航司	西洋政治思想史	西洋政治思想史	菊田 真司
		高内 寿夫	政治学	政治学	藤嶋 亮
刑事政策	刑事政策	安田 恵美			山本健太郎
民法	民法	一木 孝之	行政学	行政学	稲垣 浩

※ 最終的な院生募集の有無は大学HP（大学院入試情報）の指導可能教員一覧で確認すること。

●社会人入試 「書類審査」、「小論文試験」、「口述試験」

受験資格	選 考		
	書類審査	小論文試験 9:30~11:30	口述試験 13:00~
大学卒業者または卒業見込み者で、以下①~③のいずれかの条件を満たす者 ①入学予定時において就職している者（4月からの就職内定者と家事に専業している者を含む） ②10年以上の社会的実務経験がある者 ③社会人入試で学部に入学者	「研究計画書」 ※記入にあたっては、以下の点について留意すること。 ①「研究の目的」：あなたの研究によって何を明らかにするのかを明確にすること。 ②「研究の特色」：自らの社会的実務経験と研究課題との関連について明確にすること。 ③「研究の概要」：希望する研究の内容と手順・手法について現時点において考えていることを具体的に明らかにすること。	出願時に志願者各自から提出された研究計画書にもとづく小論文（1,500字～2,000字）	希望する専攻分野について行う

●学内成績選考入試 「書類審査」、「口述試験」（口述試験開始は13:00～） [飛び入学制度・先取り履修制度利用可]

受験資格：出願時に國學院大學の3年次に在学している者または卒業見込みの者で、K-SMAPY IIの成績照会に記載された累積GPAが2.0以上、かつ次の修得単位数の条件を満たす者

〈3年次在学者〉※春季のみ募集

卒業見込みであるか否かにかかわらず、3年次前期までに修得した単位が100単位以上であること。

〈4年次在学者〉※秋季・春季ともに募集

秋季試験で受験する4年生は、3年次後期までに修得した単位が100単位以上であること。

春季試験で受験する4年生は、4年次前期までに修得した単位が100単位以上であること。

●学内論文選考入試 「書類審査」、「口述試験」（口述試験開始は13:00～） [飛び入学制度・先取り履修制度利用可]

受験資格：出願時に國學院大學の3年次に在学している者または卒業見込みの者で、出願期間までに次の〈論文〉を完成させ、下記の修得単位数の条件を満たす者

〈論文〉法学・政治学に関連する論文（卒業論文や演習論文を含む）、字数は8,000字以上（注を含むが、表紙、目次は含まない）。注を付すこと。

（注：「法学・政治学に関連する」とあるが、法学・政治学そのものの方法論によって書かれた論文に限定されるわけではない。）

〈3年次在学者〉※春季のみ募集

3年次前期までに修得した単位が100単位以上であること。

〈4年次在学者〉※秋季・春季ともに募集

秋季試験を受験する4年生は、3年次後期までに修得した単位が100単位以上であること。

春季試験を受験する4年生は、4年次前期までに修得した単位が100単位以上であること。

選考方法

経済学研究科

アカデミック・コース／キャリア・コース

※全制度共通：「書類審査」に関する詳細は後述する「書類審査について」を確認すること。

●一般入試 「書類審査」、「筆記試験」、「口述試験」

アカデミック・コース：「書類審査」、「筆記試験(専門科目)」、「口述試験」

筆記試験		口述試験
専門科目	英語 * 2	
10:00 ~ 11:00		13:00 ~
下記科目の中から出願時に選択した1科目(披見不可) * 1 「経済学」、「経営学」、「会計学」	TOEFL iBT、TOEIC L&R、IELTS いずれかのスコアを用いる。	1人あたり30分程度の時間で、専攻を希望する分野に関連した研究計画と、学部レベルの基礎知識に関する口頭試問を行う。

- \* 1 「経済学」を選択し、令和7(2025)4月1日以降に受験したEREマイクロ・マクロにおける総合評価B+以上の成績証明書を提出した者は、筆記試験を免除する。出願時にEREマイクロ・マクロの成績証明書の原本を送付すること。
- \* 2 英語の筆記試験に代えて、出願時からさかのぼって2年以内に受験したTOEFL iBTスコア64点以上、TOEIC L&R 675点以上、IELTS Band(overall) 5.5以上のいずれかを証明するスコア表(原本)を出願時に提出すること。入試当日に英語の筆記試験は行わない。
- \* 3 \* 1、\* 2に関し不明な点があれば、大学院事務課に出願前に相談すること。

キャリア・コース：「書類審査」、「筆記試験(専門科目)」、「口述試験」

筆記試験	口述試験
専門科目	
10:00 ~ 11:00	13:00 ~
「会計学」(披見不可)	1人あたり30分程度の時間で、専攻を希望する分野に関連した研究計画と、学部レベルの基礎知識に関する口頭試問を行う。

●外国人入試 「書類審査」、「筆記試験」、「口述試験」

アカデミック・コース：「書類審査」、「筆記試験(専門科目)」、「口述試験」

筆記試験	口述試験
専門科目	
10:00 ~ 11:00	13:00 ~
下記科目の中から出願時に選択した1科目(披見不可) * 1 「経済学」、「経営学」、「会計学」	1人あたり30分程度の時間で、専攻を希望する分野に関連した研究計画と、学部レベルの基礎知識に関する口頭試問を行う。

- \* 1 「経済学」を選択し、令和7(2025)4月1日以降に受験したEREマイクロ・マクロにおける総合評価B+以上の成績証明書を提出した者は、筆記試験を免除する。出願時にEREマイクロ・マクロの成績証明書の原本を送付すること。
- ※ 日本語能力試験N1レベルまたは日本留学試験・日本語の成績が315点以上(記述30点以上)であることが証明できない場合、不合格となる。
- ※ 外国人入試はアカデミック・コースのみの募集。キャリア・コースを志望する外国人は、一般入試を受験すること。
- ※ 日本の大学を卒業した者は、外国人入試の対象外とする。一般入試を受験すること。
- ※ 英語能力の確認のため、出願時から2年以内に受験したTOEFL、TOEIC、IELTS、ケンブリッジ英検、国連英検、実用英語検定のいずれかのスコア証明等(原本)を保持している場合は、任意で出願時に提出すること。口述試験時に参照することがある(英語を母語とする者は提出不要)。

## ●社会人入試

アカデミック・コース：「書類審査」、「小論文試験」、「口述試験」

出願資格	選考	
	小論文試験	口述試験
	10:00 ~ 11:00	13:00 ~
大学卒業者あるいは卒業見込み者で、大学院入学時までに2年以上の社会的実務経験を有し、その社会的実務経験にもとづき博士前期課程で研究を行う、明確な問題意識をもつ者。なお、社会的実務経験とは、公的機関あるいは民間機関における勤務(臨時雇用でも継続的なものであればよい)のほかに、家業に継続して従事したことも含む。	出願時に志願者各自から提出された研究計画書及びそれに関連する小論文	専攻を希望する分野に関連して行う

キャリア・コース：「書類審査」、「小論文試験」、「口述試験」

出願資格	選考	
	小論文試験*1	口述試験
	10:00 ~ 11:00	13:00 ~
大学卒業者あるいは卒業見込み者で、大学院入学時までに2年以上の社会的実務経験を有し、その社会的実務経験にもとづき博士前期課程で研究を行う、明確な問題意識をもつ者。なお、社会的実務経験とは、公的機関あるいは民間機関における勤務(臨時雇用でも継続的なものであればよい)のほかに、家業に継続して従事したことも含む。	出願時に志願者各自から提出された研究計画書及びそれに関連する小論文	専攻を希望する分野に関連して行う

- \*1 キャリア・コースを志望し、税理士試験において1科目以上合格している者は、小論文試験の免除対象となるため、出願時に合格証明書(コピー可)を送付すること。
- \*2 小論文試験免除対象者の口述試験はオンライン形式での実施や、当日午前中からの実施とする場合もある。試験当日の詳細は出願後に送付される通知書で確認すること。

## ●学内推薦入試

アカデミック・コース：「書類審査」、「口述試験」

### 受験資格

以下の①または②、及び③の条件を満たし、出願時点で本学の学部または大学院に専任として在籍する教員から推薦を受けた者。

- ① 本学経済学部の4年次在学中で、卒業が確実に見込まれる者
- ② 本学経済学部を卒業して2年以内の者
- ③ 累積GPAが2.5以上であること
  - (1) 本学経済学部の4年次在学中で秋季に受験する場合には、3年次までの累積GPA
  - (2) 本学経済学部の4年次在学中で春季に受験する場合には、4年次前期までの累積GPA
  - (3) 本学経済学部を卒業して2年以内の者は、卒業時点の累積GPA

キャリア・コース：「書類審査」、「口述試験」

### 受験資格

以下の①または②、及び③の条件を満たし、出願時点で本学の学部または大学院に専任として在籍する教員から推薦を受けた者。

- ① 本学経済学部の4年次在学中で、卒業が確実に見込まれる者
- ② 本学経済学部を卒業して2年以内の者
- ③ 累積GPAが2.5以上であること
  - (1) 本学経済学部の4年次在学中で秋季に受験する場合には、3年次までの累積GPA
  - (2) 本学経済学部の4年次在学中で春季に受験する場合には、4年次前期までの累積GPA
  - (3) 本学経済学部を卒業して2年以内の者は、卒業時点の累積GPA

学内推薦入試の口述試験はオンライン形式に変更される場合もある。形式ならびに開始時間の詳細については出願後に送付される通知書で確認すること。

### 【書類審査について】

提出された研究計画書等の記載内容を基に審査を行う。以下の3点を重視する。

- ① 研究の目的(研究によって明らかにしようとするポイント)
- ② 研究の特色(社会人入試においては社会的実務経験から得た問題意識との関連を説明すること)
- ③ 研究の概要(研究の手順と手法)

## 6. 博士後期課程

### 出願資格

以下(1)～(8)のいずれかの要件を満たす者（出願年度3月末日までにその見込みのある者も含む）

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業を履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 日本国内において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 外国の大学等の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
- (8) 大学院において、個別の入学資格審査により修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者

上記(8)に定める個別の入学資格審査は、以下の要領で実施する。

#### 令和9年度 入学資格審査 スケジュール [対象：博士後期課程]

	出願期間	試験日
春季試験	12月5日(土)～12月11日(金)	1月7日(木)

\*書類審査による選考となる場合があります。

出願受付場所 ■ 大学院事務課（渋谷キャンパス）

出願受付時間 ■ 9：00～12：50、13：50～16：00（日曜日・祝日を除く）

審査料及び出願書類 ■

①審査料：10,000円

※P.23の証明書発行サービス（オンライン）より、「入学資格審査 審査料」を納入してください。

②入学資格審査調査書（本学所定用紙⑩）

③卒業証明書（最終学歴）の原本

④成績証明書（最終学歴）の原本

⑤宛名記載済みの返信用封筒（長形3号、切手不要）

※出願の研究科によって、別途書類提出を求める場合がありますので、予め大学院事務課にお問い合わせください。

### 文学研究科 入試制度別出願条件

博士後期課程の出願資格を満たしている者は、以下いずれかの入試を受験することができる。

入試制度	出願対象及び条件
一般入試	博士後期課程の出願資格を満たしている者 ※次に続く「外国籍で、外国の教育機関で教育を受けた者」は外国人入試を受験してください。
外国人入試	対象：外国籍で、外国の教育機関で教育を受けた者 条件：日本語能力試験N1合格、或いは日本留学試験・日本語の成績260点以上 ※日本国内の大学院を修了した場合、一般入試を受験してください。
社会人入試	入学予定時において、以下のいずれかに該当し、出願年度に学部または大学院に在学していない者 ①最終学歴〈学士〉で出願する者： 学士の学位取得後5年以上を経過し博士前期課程を修了した者と同等以上の学力があると認められ、かつ研究業績を有する者 ②最終学歴〈修士〉で出願する者： 修士の学位取得後2年以上を経過し、公的機関・企業等の職員として勤務している者

## 文学研究科 選考方法

### ●全入試制度において「書類選考」及び「口述試験」により選考

※口述試験は対面で実施します。実施要領・実施時間は、書類選考結果通知に同封します。

#### 一般入試、外国人入試、社会人入試の課題一覧

※出願時の提出書類については「出願書類一覧 (P.20)」をご確認のうえ、不足がないようにご提出ください。

#### 神道学・宗教学専攻

分野	課題及び作成要領	字数	書式他
全分野	自身の研究テーマに関する先行研究の概況について記述してください。記述にあたっては、学術論文を5点以上あげ、その内容と出典、および自らの研究との関係について明示してください。 ※解答に剽窃や捏造が認められる場合（生成AIによるものを含む）、研究倫理上の不正行為として解答全体を無効とします。	3,000～4,000 字程度	A4横書き・ 32字×25行 14ポイントを 基本とする。

#### 文学専攻

コース・分野	課題及び作成要領	字数	書式他
日本文学	あなたの研究課題に関わる近年の論文（単行本または学術論文）を二点あげて論評しなさい。また、あなたの研究課題の独自性について述べなさい（近年の研究動向をふまえること）。	4,000字程度	A4横書き・ 32字×25行 14ポイントを 基本とする。
日本語学	関心のある論文を1つ挙げて、内容の紹介および批評をしなさい。	4,000字程度	
中国文学	あなたの専攻分野についてテーマを設定し、具体的に論述しなさい。	4,000字程度	
伝承文学	あなたの研究課題と内容から、先行研究として重要な論文を2点挙げ、それぞれの論点と内容について論評しなさい。	4,000字程度	
高度国語教育	あなたの研究テーマについて、先行研究や最近の研究動向等をふまえ、その特徴と期待できる成果を論述しなさい。	4,000字程度	
高度日本語教育	あなたの研究テーマについて、先行研究、日本語教育の現状などを踏まえて、構想・方法・意義などについて記述しなさい。	4,000字程度	

#### 史学専攻

コース	課題及び作成要領	字数	書式他
全コース	<ul style="list-style-type: none"> <li>冒頭に研究テーマを記し、次の行に氏名を記し、1行開けて本文を書いてください。本文は節を3以上設定し、それぞれの節に番号を付け、題名を付けてください。</li> <li>研究の目的、研究の構想と方法、使用する資料、研究の計画、予想される研究成果と展望などを記してください。</li> </ul>	5,000～6,000 字程度	A4横書き・ 32字×25行 14ポイントを 基本とする。

**法学研究科 選考方法**

●一般入試・外国人入試 「筆記試験」、「口述試験」

筆 記 試 験 ※1	口述試験 ※2
9 : 30 ~ 11 : 00	13 : 00 ~
・外国語：英語・独語・仏語のうち1科目。 英和・独和・仏和辞典のうち1冊のみ持込可、法律用語辞典・電子辞書・電子機器の利用は不可。	希望する専門科目について行う

※1 日本法制史の分野を専攻する者は、外国語を日本法制史に関する史料解読に代えることができる。

※2 口述試験は、開始時間が前後することがある。

**経済学研究科 選考方法**

※全制度共通：「書類審査」に関する詳細は、後述する「書類審査について」を確認すること。

●一般入試・外国人入試 「書類審査」、「筆記試験」、「口述試験」

筆 記 試 験	口 述 試 験
外国語	
10 : 00 ~ 11 : 00	13 : 00 ~
英語 (英和辞書の利用可。但し、電子辞書の利用は不可。)	修士論文を審査するとともに、専門分野に関連して試験を行う (30分程度)

●社会人入試 「書類審査」、「口述試験」

出 願 資 格	口述試験
	13 : 00 ~
大学院博士前期課程の修了者または修了見込者で、以下①②のいずれかの条件を満たす者 ① 学士の学位取得後から大学院受験時までに5年以上の社会的実務経験を有し、かつ研究業績を有する者 ② 修士の学位取得後から大学院入試時までに2年以上の社会的実務経験を有する者 ※ 社会的実務経験とは、公的機関、民間機関における勤務（臨時雇用でも継続的なものであればよい）のほかに、家業に継続して従事したことも含む。	修士論文を審査するとともに、専門分野に関連して試験を行う (30分程度)

**【書類審査について】**

提出された研究計画書等の記載内容を基に審査を行う。以下の3点を重視する。

- ① 研究の目的（研究によって明らかにしようとするポイント）
- ② 研究の特色（社会人入試においては社会的実務経験から得た問題意識との関連を説明すること）
- ③ 研究の概要（研究の手順と手法）

## 7. 全入試制度 共通事項

### ●博士前期課程 出願書類一覧

- ◆出願方法：紙での出願書類提出とインターネット上での電子提出の双方をもって、出願受理となります。電子出願フォームは、出願期間に**大学HP**（大学院入試情報）よりアクセス可能となります。
- ◆所定用紙：全ての所定用紙の書式は**大学HP**（大学院入試/出願書類(所定用紙)）から取得できます。紙提出の書類はA4版で印刷のうえ、提出を行ってください。

### ❖全研究科共通

〔入試制度コード・A:一般入試 B:外国人入試 C:社会人入試  
D:学内成績選考(文・法) F:学内論文選考(法) H:学内推薦(経)〕

No.	提出書類	様式・種類	提出方法	備考	対象の入試制度
1	入学志願票	所定用紙①	紙	3か月以内に撮影した写真を貼り付けること。	all
2	口述調査書	所定用紙③	紙	志願票と同じ写真1枚を貼り付けること。	all
3	研究計画書	所定用紙④（文学研究科） 所定用紙⑤（法学研究科） 所定用紙⑥（経済学研究科）	電子	文字数・内容については、所定用紙上で指示されている各研究科の指定通りに作成すること。	all
4	志望理由および自己推薦書	所定用紙⑦	電子	・右記指定の入試制度に出願する者のみ提出すること。 ・自己推薦書には、記載内容の理由を明示する資料を添えてもよい。	D・F・H
5	外国籍調査書	所定用紙⑩	電子	入試制度に関係なく、外国籍の者は全員提出すること。	all
6	旅券・在留カードの写し		紙	入試制度に関係なく、外国籍の者は全員提出すること。	all
7	証明書	出身大学の「卒業(見込)証明書」および「成績証明書」等	紙	・中国の大学を卒業した者は、左記に代わりP.21指示のものを提出すること。 ・後述の備考欄を参照し、該当する書類も併せて提出すること。	all
8	在職証明書		紙	右記指定の入試制度に出願する者のうち、在職中の者は提出すること。	C
9	長期履修申請書	所定用紙⑬	紙	長期履修制度の利用希望者のみ提出すること。	all
10	返信用封筒	長形3号封筒1枚	紙	宛先・宛名（住所および氏名）を記入し、速達料金を含む410円分の切手を貼り付けること。	all

【備考】7. 証明書について：

- \*D・H：学内成績選考・学内推薦入試出願者は、各研究科の指定GPAを満たしていることが確認できる「成績証明書」を提出すること。
- \*法学研究科のD・F：学内成績・学内論文選考入試に出願する学部3年生は「卒業見込証明書」の提出は不要。
- \*外国語で記載された証明書は、必ず日本語訳（本人作成のものも認める）を添付すること。
- \*外国籍で、日本の日本語教育機関（日本語学校等）に在学中の者は、機関発行の「出席証明書」および「成績証明書」も併せて提出すること。
- \*外国籍で、日本の大学の研究生として在籍中の者は、指導教員の推薦状を提出することが望ましい。
- \*外国の大学の卒業者のうち、卒業証明書に学位の記載がない者は、学位の取得を証明する書類（「学位授与証明書」等）を提出すること。

- ◆他の大学（大学院）に在学中の者は、入学後、所定の期日までに当該大学（大学院）の「退学証明書」を提出すること。ただし、令和9〔2027〕年3月卒業（修了）見込者は提出不要。

### ❖文学研究科

No.	提出書類	様式・種類	提出方法	備考	対象の入試制度
11	専攻コース別課題	所定用紙⑪	電子	P.11の「課題一覧」で指定の課題を所定用紙に作成し、提出すること。	A・B・C
12	選考調書	所定用紙⑫	電子	神道学・宗教学専攻、文学専攻に出願の者は、提出すること。史学専攻は提出不要。	A・B・C
13	日本語能力試験N1の合格証明、或いは日本留学試験・日本語の成績（260点以上）証明			[提出方法：紙]。	B
				*D：学内成績選考入試の秋季試験出願者は、K-SMAPY II から卒業予定年次前期までのGPAが記載された「成績照会」を印刷して提出すること [提出方法：紙]。 *文学・史学専攻のD：学内成績選考入試における春季試験出願者は、「卒業論文または演習・ゼミ論文」の写しを提出すること [提出方法：電子]。	D

### ❖法学研究科

				*D：学内成績選考入試の出願者は、本学教員（兼任講師を含む）の推薦書を提出することが望ましい [提出方法：紙]。 *F：学内論文選考入試の出願者は、法学・政治学に関連する論文（卒業論文や演習論文を含む）を提出すること。字数は8,000字以上（注を含むが、表紙・目次は含まない）。注を付すこと [提出方法：電子]。 注：「法学・政治学に関連する」とあるが、法学・政治学そのものの方法論によって書かれた論文に限定されるわけではない。	D・F
--	--	--	--	--	-----

### ❖経済学研究科

				*「専門科目」の筆記試験免除を希望する者は、ERE（ミクロ・マクロ）の成績証明書の原本を提出すること。アカデミック・コースのA：一般入試の受験者は、TOEFL等指定する成績評価証明書（原本）を提出すること。B：外国人入試を希望する者は、日本語能力試験N1の合格証明等、指定する成績通知書を提出すること。また、英語能力を証明できる書類を提出すること（該当者のみ）[提出方法：紙]。 *キャリア・コースの出願者は、税理士試験等結果通知書、一部科目合格通知書または一部科目合格証明書のいずれかのコピーを提出すること（該当者のみ）[提出方法：紙]。 *H：学内推薦入試の出願者は、出願時点で本学の学部または大学院に専任として在籍する教員が執筆した推薦書（様式自由）を提出すること [提出方法：紙]。	all
--	--	--	--	---	-----

## ●博士後期課程 出願書類一覧

- ◆出願方法：紙での出願書類提出とインターネット上での電子提出の双方をもって、出願受理となります。電子出願フォームは、出願期間に**大学HP**（大学院入試情報）よりアクセス可能となります。
- ◆所定用紙：全ての所定用紙の書式は**大学HP**（大学院入試/出願書類(所定用紙)）から取得できます。紙提出の書類はA4版で印刷のうえ、提出を行ってください。

### ❖全研究科共通

入試制度コード・A:一般入試 B:外国人入試 C:社会人入試

No.	提出書類	様式・種類	提出方法	備考	対象の入試制度
1	入学志願票	所定用紙②	紙	3か月以内に撮影した写真を貼り付けること。	all
2	口述調査書	所定用紙③	紙	志願票と同じ写真1枚を貼り付けること。	all
3	研究計画書	所定用紙④（文学研究科） 所定用紙⑤（法学研究科） 所定用紙⑥（経済学研究科）	電子	文字数・内容については、所定用紙上で指示されている各研究科の指定通りに作成すること。	all
4	研究業績書	所定用紙⑨	電子	右記指定の入試制度に出願する者のみ提出すること。 ただし、最終学歴〈修士〉で文学研究科に出願する者は提出不要。	C
5	研究業績の抜粋		紙	「4. 研究業績書」を提出の場合は併せて提出すること。	C
6	外国籍調査書	所定用紙⑩	電子	入試制度に関係なく、外国籍の者は全員提出すること。	all
7	旅券・在留カードの写し		紙	入試制度に関係なく、外国籍の者は全員提出すること。	all
8	証明書	最終大学院の「修了(見込)証明書」および「成績証明書」等	紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国の大学院を修了した者は、左記に代わりP.21指示のものを提出すること。</li> <li>後述の備考欄を参照し、該当する書類も併せて提出すること。</li> </ul>	all
9	在職証明書		紙	右記指定の入試制度に出願する者のうち、在職中の者は提出すること。	C
10	返信用封筒	長形3号封筒1枚	紙	宛先・宛名（住所および氏名）を記入し、速達料金を含む410円分の切手を貼り付けること。	all

**【備考】 8. 証明書について：**

- \*外国語で記載された証明書は、必ず日本語訳（本人作成のものも認める）を添付すること。
- \*外国籍で、日本の日本語教育機関（日本語学校等）に在籍中の者は、機関発行の「出席証明書」および「成績証明書」も併せて提出すること。
- \*外国籍で、日本の大学の研究生として在籍中の者は、指導教員の推薦状を提出することが望ましい。
- \*外国の大学院の修了者のうち、修了証明書に学位の記載がない者は、学位の取得を証明する書類（「学位授与証明書」等）を提出すること。

- ◆他の大学（大学院）に在学中の者は、入学後、所定の期日までに当該大学（大学院）の「退学証明書」を提出すること。  
ただし、令和9〔2027〕年3月卒業（修了）見込者は提出不要。

### ❖文学研究科

No.	提出書類	様式・種類	提出方法	備考	対象の入試制度
11	修士論文要旨	所定用紙⑧	電子	右記指定の入試制度に出願する者は、2,000字程度の要旨を提出すること。	A・B
12	修士論文の写し	過年度修了者は最新の業績でも可	電子		all
13	専攻コース別課題	所定用紙⑪	電子	P.17の「課題一覧」で指定の課題を所定用紙に作成し、提出すること。	all
14	選考調書	所定用紙⑫	電子	史学専攻に出願する者は提出不要。	all
15	日本語能力試験N1の合格証明、或いは日本留学試験・日本語の成績（260点以上）証明			[提出方法：紙]	B

### ❖法学研究科

No.	提出書類	様式・種類	提出方法	備考	対象の入試制度
11	修士論文要旨	400字詰原稿用紙で20枚程度	電子	右記入試制度の出願者は提出すること。	A・B
12	修士論文の写し	本学大学院博士前期課程修了見込者は提出不要	電子	外国語の場合は日本語訳を付けること。	all
13	研究状況の概要書	書式自由	電子	修士学位を取得して2年以上経た者が対象。	A・B

### ❖経済学研究科

No.	提出書類	様式・種類	提出方法	備考	対象の入試制度
11	修士論文要旨	400字詰原稿用紙で10枚程度、日本語で作成すること。	電子		all
12	修士論文の写し	英語以外の外国語の場合は日本語訳を付けること。	電子	<ul style="list-style-type: none"> <li>A：一般入試…過年度に大学院博士前期課程を修了した者は、修士論文（加筆・修正可）を提出すること。</li> <li>C：社会人入試…最終学歴〈修士〉で出願する者は修士論文を（修士論文にその後の研究業績を追加して提出しても可）、最終学歴〈学士〉で出願する者は修士論文に相当すると考えられる研究業績を提出すること。</li> </ul>	all

## ●中華人民共和国の大学を卒業（修了）した受験生へ [CHSIによる証明書提出]

中華人民共和国の大学を卒業（修了）した方は、「出願書類一覧」の「卒業証明書」と「成績証明書」の代わりに、中国高等教育学生信息网（CHSI）が発行する「学位認証書」および「成績認証書」を出願締切日までに提出してください（発行までにかなり時間を要するため、余裕をもって発行申請を行うこと）。なお、新卒者の場合はCHSIからの証明書発行ができませんので、その場合のみ出身大学の「卒業証明書」と「成績証明書」を提出してください。

### ■申請方法

CHSIのWEBサイト（<https://www.chsi.com.cn/>）にアクセスし、電子認証報告メールがCHSIから直接、國學院大學大学院に送信されるよう申請してください。

（送信先：daigakuin-j@kokugakuin.ac.jp）

### ■申請（提出）書類

博士前期課程の出願者：大学学部の「学位認証書」と「成績認証書」

博士後期課程の出願者：大学院・修士の「学位認証書」と「成績認証書」

### ■注意事項

- 出願者本人が受信した電子認証報告メールの転送は、出願書類として受理できません。
- 出願締切日までに本学で認証書のメールが受信できなかった場合には、出願不受理となりますのでお気をつけください（出願期間前に手配することも可能です）。

※上記の「認証書」はCHSI中国学歴・学籍認証センター 日本代理機構のWEBサイト（<http://www.chsi.jp>）での発行申請も可能です。代理機構から申請を行う場合も、上記と同様に電子認証報告メールがCHSI日本代理機構から直接、出願締切日までに國學院大學大学院に送信されるよう、申請してください。

（送信先：daigakuin-j@kokugakuin.ac.jp）

●入試コード一覧表 ※志願票等の出願書類「入試コード」には下記4字を記入してください。

秋季試験

制 度	課程	研究科	専 攻	入試コード
一 般 入 試	前期	文 学	神道学・宗教学	A 3 1 M
			文 学	A 3 1 Q
			史 学	A 3 1 S
		法 学	法 律 学	A 3 2 E
		経 済 学	経 済 学	A 3 3 F
外 国 人 入 試	前期	文 学	神道学・宗教学	B 3 1 M
			文 学	B 3 1 Q
			史 学	B 3 1 S
		法 学	法 律 学	B 3 2 E
		経 済 学	経 済 学	B 3 3 F
社 会 人 入 試	前期	文 学	神道学・宗教学	C 3 1 M
			文 学	C 3 1 Q
			史 学	C 3 1 S
		法 学	法 律 学	C 3 2 E
		経 済 学	経 済 学	C 3 3 F
学内成績選考入試	前期	文 学	神道学・宗教学	D 3 1 M
			文 学	D 3 1 Q
			史 学	D 3 1 S
		法 学	法 律 学	D 3 2 E
学内論文選考入試	前期	法 学	法 律 学	F 3 2 E
学内推薦入試	前期	経 済 学	経 済 学	H 3 3 F

春季試験

制 度	課程	研究科	専 攻	入試コード	
一 般 入 試	前期	文 学	神道学・宗教学	A 1 1 M	
			文 学	A 1 1 Q	
			史 学	A 1 1 S	
		法 学	法 律 学	A 1 2 E	
			経 済 学	経 済 学	A 1 3 F
	後期	文 学	神道学・宗教学	A 1 1 N	
			文 学	A 1 1 R	
			史 学	A 1 1 T	
法 学		法 律 学	A 1 2 K		
		経 済 学	経 済 学	A 1 3 L	
外 国 人 入 試	前期	文 学	神道学・宗教学	B 1 1 M	
			文 学	B 1 1 Q	
			史 学	B 1 1 S	
		法 学	法 律 学	B 1 2 E	
			経 済 学	経 済 学	B 1 3 F
	後期	文 学	神道学・宗教学	B 1 1 N	
			文 学	B 1 1 R	
			史 学	B 1 1 T	
法 学		法 律 学	B 1 2 K		
		経 済 学	経 済 学	B 1 3 L	
社 会 人 入 試	前期	文 学	神道学・宗教学	C 1 1 M	
			文 学	C 1 1 Q	
			史 学	C 1 1 S	
		法 学	法 律 学	C 1 2 E	
			経 済 学	経 済 学	C 1 3 F
	後期	文 学	神道学・宗教学	C 1 1 N	
			文 学	C 1 1 R	
			史 学	C 1 1 T	
経 済 学		経 済 学	C 1 3 L		
学内成績選考入試	前期	文 学	神道学・宗教学	D 1 1 M	
			文 学	D 1 1 Q	
			史 学	D 1 1 S	
		法 学	法 律 学	D 1 2 E	
学内論文選考入試	前期	法 学	法 律 学	F 1 2 E	
学内推薦入試	前期	経 済 学	経 済 学	H 1 3 F	
再 入 学 試 験	前期	文 学	神道学・宗教学	G 1 1 M	
			文 学	G 1 1 Q	
			史 学	G 1 1 S	
		法 学	法 律 学	G 1 2 E	
			経 済 学	経 済 学	G 1 3 F
	後期	文 学	神道学・宗教学	G 1 1 N	
			文 学	G 1 1 R	
			史 学	G 1 1 T	
法 学		法 律 学	G 1 2 K		
		経 済 学	経 済 学	G 1 3 L	

●各専攻のコース・分野

専攻	コース・分野
神道学・宗教学	神道学 宗教学
文 学	日本文学
	日本語学
	中国文学
	伝承文学
	高度国語・日本語教育
史 学	日本史学
	外国史学
	考古学
	美学美術史
	博物館学
法 律 学	法律(研究コース・公務員養成コース)
	政治(研究コース・公務員養成コース)
経 済 学	アカデミック
	キャリア

※志願票には、希望する専攻のコース・分野を必ず記入してください。

## ●出願・受験上の注意

1. 法学・経済学研究科の出願者（経済学研究科は博士前期課程のみ）は、志願票の選択受験科目を必ず○で囲んでください。なお、出願後の受験科目の変更はできません。
2. 受理した書類および入学検定料等は、事情のいかんにかかわらず返還しません。
3. 試験当日、学校保健法で出席の停止が定められている感染症（新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ・麻疹・風疹等）に罹患し登校停止期間中である場合には、他の受験生や監督者等への感染の恐れがありますので、受験をご遠慮願います。また、試験当日に発症の疑いがあると大学が判断した場合にも、受験をご遠慮願いますので、体調管理には十分注意してください。ただし、症状により学校医その他の医師において伝染の恐れがないと認められた場合には、この限りではありません。  
なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験等の措置は行いません。

## ●入学検定料と納入方法

入学検定料は1回の試験につき、**35,000円**です。下記①あるいは②いずれかの方法により、出願期間内に入学検定料を納入してください。

### ①金融機関を利用する場合（ゆうちょ銀行は利用不可）

振込用紙は「入学志願票」と一連になっています。各票に必要な事項を記入のうえ、切り離さず取扱店窓口へ持参してください（注意：ATMは利用しないでください）。振込終了後は、志願票【A票】【C票】に取扱店の収納印が押されていることを必ず確認してください。なお、志願票【C票】は本人控となりますので、各自で保管してください。

本学指定の振込先銀行口座は次のとおりです。

銀行名	支店名	口座番号
みずほ銀行	渋谷中央支店	普通No.1391131
三菱UFJ銀行	渋谷中央支店	普通No.0128169
三井住友銀行	渋谷支店	普通No.8195674
りそな銀行	渋谷支店	普通No.0093868

#### \*手数料について

本学指定の銀行の各支店から振り込む際の手数料は不要ですが、その他の銀行等からの振込時の手数料は、本人負担となります。

### ②証明書発行サービス（オンライン）を利用する場合

一般ユーザーとして「証明書発行サービス」にご登録いただき、下記手順に則って入金を行ってください。

#### ■証明書発行サービスURL

[https://kics.kokugakuin.ac.jp/cert/i/i\\_registration.html](https://kics.kokugakuin.ac.jp/cert/i/i_registration.html)



#### ■検定料支払いの手順

##### ①メールアドレスの登録

※「証明書発行サービス」に以前登録したメールアドレス・本学発行のメールアドレスは使用できませんので、ご注意ください。

② ①で登録したメールアドレスに届くワンタイムURLにアクセスし「所属：大学院受験生」「所管部署：大学院事務課」を選択のうえで、個人情報を入力

③ 「大学院 入学検定料」を「1部」選択

④ 「コンビニ現金払い」「クレジットカード決済」「PayPay」から支払方法を選択

#### [利用可能な支払方法]

クレジットカード決済（Diners、JCB/AMEX、Visa/Master）、コンビニ決済（ファミリーマート、ローソンのSmart Pit、セブンイレブンのWEBコンビニ）、ウォレット決済（PayPay）

⑤ 内容を確認し「申請」を押して登録完了

※ ①で登録したメールアドレス宛てに申請書支払い完了メールが届きます。

## ●入学手続 ※詳細は合格者宛てに送付する入学手続要項にてご確認ください。

### 〈秋季合格者〉

- 第1次・提出書類**
- ① 入学申込金（100,000円）を本学指定の銀行に納入した、振込連絡票の写し
  - ② 誓約書・履歴書
  - ③ 保証書
  - ④ 研究題目届（希望指導教員を記入）
  - ⑤ 学生証用の写真
  - ⑥ 第2次手続書類送付用の宛名記入済み封筒（長形3号、切手不要）

- 第2次・提出書類**
- ① 学費等納付金（第1次手続の「入学申込金」を控除した残額）を本学指定の銀行に納入した、振込連絡票の写し
  - ② 卒業または修了証明書（出願時に卒業・修了見込みだった者が対象、必ず3月末日までに提出すること）
  - ③ 住民票（発行から3か月以内のもの）
  - ④ [外国籍の方のみ] 旅券及び在留カード（表・裏）の写し
- ※第2次手続に使用する所定用紙については、2月18日(木)までに改めて送付します。

### 〈春季合格者〉

- 提出書類**
- ① 学費等納付金を本学指定の銀行に納入した、振込連絡票（所定用紙・大学提出用）の写し
  - ② 誓約書・履歴書
  - ③ 保証書
  - ④ 研究題目届（希望指導教員を記入）
  - ⑤ 学生証用の写真
  - ⑥ 卒業または修了証明書（出願時に卒業・修了見込みだった者が対象、必ず3月末日までに提出すること）
  - ⑦ 住民票（発行から3か月以内のもの）
  - ⑧ [外国籍の方のみ] 旅券及び在留カード（表・裏）の写し

※教員免許や学芸員などの資格取得等を目的に学部の科目等履修生制度への登録を希望する場合、3月上旬頃までに[大学HP](#)（科目等履修生）もしくは教務課窓口にてご確認ください。

## ●入学辞退による学費の返還について

入学手続き完了後、やむを得ない事由により入学を辞退される場合は、期日までに申し出てください。書面による所定の手続きを経て、入学金を除く授業料等を返還します（振込予定：4月中旬）。

申出期限：出願年度の末日（日曜・祝日の場合は、前日） 午後4時

## ●学費等納付金

令和8年度の学費等納付金一覧（参考）

単位：円

項 目	博士前期課程						博士後期課程									
	本学出身者			他大学出身者			本学(前期)出身者			学部本卒前期他卒			他大学院(前期)出身者			
	総額	①(前期)	②(後期)	総額	①(前期)	②(後期)	総額	①(前期)	②(後期)	総額	①(前期)	②(後期)	総額	①(前期)	②(後期)	
学 費	入 学 金	100,000	100,000	—	200,000	200,000	—	—	—	—	100,000	100,000	—	200,000	200,000	—
	授 業 料	505,000	252,500	252,500	505,000	252,500	252,500	505,000	252,500	252,500	505,000	252,500	252,500	505,000	252,500	252,500
	施 設 設 備 費	100,000	50,000	50,000	200,000	100,000	100,000	—	—	—	100,000	50,000	50,000	200,000	100,000	100,000
	維 持 運 営 費	10,000	10,000	—	10,000	10,000	—	10,000	10,000	—	10,000	10,000	—	10,000	10,000	—
	小 計	715,000	412,500	302,500	915,000	562,500	352,500	515,000	262,500	252,500	715,000	412,500	302,500	915,000	562,500	352,500
諸 費	院友会(同窓会)入会金	—	—	—	10,000	10,000	—	—	—	—	—	—	—	10,000	10,000	—
合 計	715,000	412,500	302,500	925,000	572,500	352,500	515,000	262,500	252,500	715,000	412,500	302,500	925,000	572,500	352,500	

- [備考] 1. 入学手続き時は前期分の学費等納付金をお振り込みください。  
後期分の学費納付につきましては、入学後にご案内します。
2. 本学出身者の入学金および施設設備費は、次のとおりです。
- ① 博士前期課程：半額
  - ② 博士後期課程：本学博士前期課程修了者は徴収対象としない。  
本学学部出身者で、他大学の博士前期課程修了者は半額。

## ●奨学金制度

### 1. 國學院大學大学院奨学金 [給付]

本学大学院独自の奨学金制度として、修学に経済的な困難を抱えている大学院学生を対象とした「経済支援型」と、優れた学業・研究実績を挙げている学生の奨励を目的とした「学業奨励型」の2種類（併願可能）を用意しています。また、安心して進学の実現を選べるように「経済支援型」には、大学院入試出願前に申請を行う（支給は入学後）ことができる「経済支援型（予約型）」の制度も設けています。本制度は例年6月下旬より申請受付を行っておりますので、詳細は[大学HP](#)（学費等納付金／奨学金）をご参照ください。

### 2. 税理士試験支援奨学金 [給付]

税理士試験に1科目以上合格している経済学研究科の大学院学生に対して、外部セミナー受講料の50%相当（10万円が上限）を、在学期間中に2回を限度として給付します。

### 3. 日本学生支援機構奨学金 [貸与]

第一種奨学金（無利子）に採用された場合には、博士前期課程：50,000円または88,000円、博士後期課程：80,000円または122,000円が月額として貸与されます。申請希望者は入学後に所定の手続きを行ってください。

### 4. その他

- 在留資格「留学」を有し、標準修業年限の中で在籍している私費外国人留学生のうち、経済的理由で就学が困難な学生を対象として、当該年度の授業料の3割を減免する「大学院私費外国人留学生授業料減免制度」を用意しています。
- 地方公共団体・民間団体等が運営する学外奨学金の案内を都度行っております。詳細は[大学HP](#)（学費等納付金／奨学金）をご参照ください。

# 令和8年度 大学院入学試験実施状況

## 【秋季・春季合計】

課程	研究科	専攻	志願者数			受験者数			合格者数			手続者数		
			本学	他大学	計	本学	他大学	計	本学	他大学	計	本学	他大学	計
前期	文学	神道学・宗教学	20	2	22	20	2	22	12	1	13	11	1	12
		文学	17	23	40	17	23	40	16	9	25	15	8	23
		史学	46	27	73	46	27	73	34	10	44	33	9	42
		計	83	52	135	83	52	135	62	20	82	59	18	77
	法学	法律学	10	3	13	10	3	13	10	2	12	9	2	11
	経済学	経済学	5	16	21	5	15	20	1	8	9	1	7	8
前期課程 計			98	71	169	98	70	168	73	30	103	69	27	96
後期	文学	神道学・宗教学	5	1	6	5	1	6	4	0	4	4	0	4
		文学	9	1	10	9	1	10	8	1	9	8	1	9
		史学	8	3	11	8	3	11	8	2	10	7	2	9
		計	22	5	27	22	5	27	20	3	23	19	3	22
	法学	法律学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	経済学	経済学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
後期課程 計			22	5	27	22	5	27	20	3	23	19	3	22
総計			120	76	196	120	75	195	93	33	126	88	30	118

※上表に再入学試験は含まない。

## 【秋季試験】

課程	研究科	専攻	入試制度	志願者数			受験者数			合格者数			手続者数			
				本学	他大学	計	本学	他大学	計	本学	他大学	計	本学	他大学	計	
前期	文学	神道学・宗教学	一般	7	1	8	7	1	8	3	1	4	3	1	4	
			外国人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			社会人	2	0	2	2	0	2	1	0	1	0	0	0	
			学内成績	5	/	5	5	/	5	4	/	4	4	/	4	
		計	14	1	15	14	1	15	8	1	9	7	1	8		
		文学	一般	10	7	17	10	7	17	10	3	13	10	3	13	
			外国人	0	5	5	0	5	5	0	1	1	0	1	1	
			社会人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			学内成績	3	/	3	3	/	3	3	/	3	3	/	3	
		計	13	12	25	13	12	25	13	4	17	13	4	17		
		史学	一般	16	13	29	16	13	29	11	6	17	10	6	16	
			外国人	0	2	2	0	2	2	0	0	0	0	0	0	
	社会人		1	1	2	1	1	2	0	1	1	0	0	0		
	学内成績		15	/	15	15	/	15	13	/	13	13	/	13		
	計	32	16	48	32	16	48	24	7	31	23	6	29			
	計				59	29	88	59	29	88	45	12	57	43	11	54
	法学	法律学	一般	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	
			外国人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
社会人			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
学内成績			2	/	2	2	/	2	2	/	2	1	/	1		
学内論文			0	/	0	0	/	0	0	/	0	0	/	0		
計			3	2	5	3	2	5	3	2	5	2	2	4		
経済学	経済学	一般	2	0	2	2	0	2	0	0	0	0	0	0		
		外国人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		社会人	0	6	6	0	6	6	0	2	2	0	2	2		
		学内推薦	1	/	1	1	/	1	0	/	0	0	/	0		
		計	3	6	9	3	6	9	0	2	2	0	2	2		
前期課程 計				65	37	102	65	37	102	48	16	64	45	15	60	
後期	文学	神道学・宗教学	一般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			外国人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			社会人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		文学	一般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			外国人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			社会人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		史学	一般	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	
			外国人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
社会人	0		1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1			
計	0	2	2	0	2	2	0	1	1	0	1	1				
後期課程 計				0	2	2	0	2	2	0	1	1	0	1	1	
総計				65	39	104	65	39	104	48	17	65	45	16	61	

【春季入学試験】

課程	研究科	専攻	入試制度	志願者数			受験者数			合格者数			手続者数			
				本学	他大学	計	本学	他大学	計	本学	他大学	計	本学	他大学	計	
前期	文学	神道学・宗教学	一般	5	0	5	5	0	5	4	0	4	4	0	4	
			外国人	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
			社会人	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
			学内成績	0	/	0	0	/	0	0	/	0	0	0	/	0
		計	6	1	7	6	1	7	4	0	4	4	0	4	4	
		文学	一般	3	6	9	3	6	9	2	3	5	2	2	4	4
			外国人	0	5	5	0	5	5	0	2	2	0	2	2	2
			社会人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			学内成績	1	/	1	1	/	1	1	/	1	0	/	0	0
		計	4	11	15	4	11	15	3	5	8	2	4	6	6	
		史学	一般	10	7	17	10	7	17	6	3	9	6	3	9	9
			外国人	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
	社会人		0	3	3	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	
学内成績	4		/	4	4	/	4	4	/	4	4	/	4	4		
計	14	11	25	14	11	25	10	3	13	10	3	13	13			
計	24	23	47	24	23	47	17	8	25	16	7	23	23			
法学	法律学	一般	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	
		外国人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		社会人	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	
		学内成績	6	/	6	6	/	6	6	/	6	6	/	6	6	
		学内論文	0	/	0	0	/	0	0	/	0	0	/	0	0	
計	7	1	8	7	1	8	7	0	7	7	0	7	7			
経済学	経済学	一般	1	1	2	1	1	2	0	1	1	0	1	1	1	
		外国人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		社会人	0	9	9	0	8	8	0	5	5	0	4	4	4	
		学内推薦	1	/	1	1	/	1	1	/	1	1	/	1	1	
計	2	10	12	2	9	11	1	6	7	1	5	6	6			
前期課程 計	33	34	67	33	33	66	25	14	39	24	12	36	36			
後期	文学	神道学・宗教学	一般	5	0	5	5	0	5	4	0	4	4	0	4	
			外国人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			社会人	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	
		計	5	1	6	5	1	6	4	0	4	4	0	4	4	
		文学	一般	9	1	10	9	1	10	8	1	9	8	1	9	9
			外国人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			社会人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	9	1	10	9	1	10	8	1	9	8	1	9	9	
		史学	一般	8	1	9	8	1	9	8	1	9	7	1	8	8
			外国人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			社会人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	8	1	9	8	1	9	8	1	9	7	1	8	8	
	計	22	3	25	22	3	25	20	2	22	19	2	21	21		
法学	法律学	一般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		外国人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
経済学	経済学	一般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		外国人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		社会人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
後期課程 計	22	3	25	22	3	25	20	2	22	19	2	21	21			
総計	55	37	92	55	36	91	45	16	61	43	14	57	57			

【再入学(春季試験)】

課程	研究科	専攻	志願者数	受験者数	合格者数	手続者数
後期	文学	史学	1	1	1	1
総計			1	1	1	1



## 9. 令和8年度 開講科目と担当教員一覧 (参考)

### 博士前期課程〔文学研究科／神道学・宗教学専攻〕

\* 神道専攻課程Ⅱ類希望者は、※印必修、◎△□印各1科目選択必修  
注) ○印を付した教員は令和8年度の論文指導演習担当者(指導教員)

授業科目名	区分	教員名	職名	学位	備考
神道学・宗教学理論演習	(演習)	○遠藤 潤	教授	博士(宗教学・國學院大學)	オムニバス形式
神道神学研究AⅠ	(演習)	○西岡 和彦	教授	博士(神道学・國學院大學)	※
神道神学研究BⅠ	(演習)	○西岡 和彦	教授	博士(神道学・國學院大學)	※
神道神学研究AⅡ	(演習)				※休講
神道神学研究BⅡ	(演習)				※休講
神道史研究AⅠ	(演習)	○加瀬 直弥	教授	博士(神道学・國學院大學)	◎
神道史研究BⅠ	(演習)	○加瀬 直弥	教授	博士(神道学・國學院大學)	◎
神道史研究AⅡ	(演習)	○武田 秀章	教授	博士(神道学・國學院大學)	
神道史研究BⅡ	(演習)	○武田 秀章	教授	博士(神道学・國學院大學)	
神社史研究AⅠ	(演習)	○笹生 衛	教授	博士(宗教学・國學院大學)	
神社史研究BⅠ	(演習)	○笹生 衛	教授	博士(宗教学・國學院大學)	
神社史研究AⅡ	(演習)	○藤本 頼生	教授	博士(神道学・國學院大學)	
神社史研究BⅡ	(演習)	○藤本 頼生	教授	博士(神道学・國學院大學)	
祭祀研究AⅠ	(演習)				□休講
祭祀研究BⅠ	(演習)				□休講
神道古典研究A	(演習)	○松本 久史	教授	博士(神道学・國學院大學)	※
神道古典研究B	(演習)	○松本 久史	教授	博士(神道学・國學院大學)	※
神道古典研究A	(講義)				休講
神道古典研究B	(講義)				休講
神道思想史研究A	(講義)	大東 敬明	兼任教授	博士(神道学・國學院大學)	
神道思想史研究B	(講義)	大東 敬明	兼任教授	博士(神道学・國學院大學)	
神社行政・管理研究A	(講義)				休講
神社行政・管理研究B	(講義)				休講
宗教学研究AⅠ	(演習)	○遠藤 潤	教授	博士(宗教学・國學院大學)	△
宗教学研究BⅠ	(演習)	○遠藤 潤	教授	博士(宗教学・國學院大學)	△
宗教学研究AⅡ	(演習)	○エリック シッケタンツ	准教授	博士(文学・東京大学)	△
宗教学研究BⅡ	(演習)	○エリック シッケタンツ	准教授	博士(文学・東京大学)	△
宗教社会学研究AⅠ	(演習)				△休講
宗教社会学研究BⅠ	(演習)				△休講
宗教社会学研究AⅡ	(演習)	○黒崎 浩行	教授	博士(宗教学・國學院大學)	△
宗教社会学研究BⅡ	(演習)	○黒崎 浩行	教授	博士(宗教学・國學院大學)	△
宗教行政研究A	(講義)	○藤本 頼生	教授	博士(神道学・國學院大學)	※専攻科と合併
宗教行政研究B	(講義)	○藤本 頼生	教授	博士(神道学・國學院大學)	※専攻科と合併
祭祀研究A	(講義)	小林 宣彦	兼任教授	博士(宗教学・國學院大學)	□
祭祀研究B	(講義)	小林 宣彦	兼任教授	博士(宗教学・國學院大學)	□
宗教哲学研究AⅠ	(講義)	奥山 倫明	兼任講師	博士(文学・東京大学)	
宗教哲学研究BⅠ	(講義)	奥山 倫明	兼任講師	博士(文学・東京大学)	
宗教哲学研究AⅡ	(講義)				休講
宗教哲学研究BⅡ	(講義)				休講
仏教研究A	(講義)	岡野 浩二	兼任講師	博士(文学・総合研究大学院大学)	
仏教研究B	(講義)	岡野 浩二	兼任講師	博士(文学・総合研究大学院大学)	

授業科目名	区分	教員名	職名	学位	備考
キリスト教研究 A	(講義)	深澤英隆	兼任講師		
キリスト教研究 B	(講義)	深澤英隆	兼任講師		
イスラーム研究 A	(講義)				休講
イスラーム研究 B	(講義)				休講
神社教化研究 A	(講義)	齊藤智朗	兼任准教授	博士(宗教学・國學院大學)	※
神社教化研究 B	(講義)	齊藤智朗	兼任准教授	博士(宗教学・國學院大學)	※
神社祭式基礎研究 A	(講義)				※専攻科と合併休講
神社祭式基礎研究 B	(講義)				※専攻科と合併休講
神社祭式研究 A	(講義)				※休講
神社祭式研究 B	(講義)				※休講
神社祭式応用研究 A	(講義)				休講
神社祭式応用研究 B	(講義)				休講
社会科教育学研究 A	(講義)				休講
社会科教育学研究 B	(講義)				休講
公民科教育学研究 A	(講義)				休講
公民科教育学研究 B	(講義)				休講

## 博士前期課程〔文学研究科／文学専攻〕

注) ○印を付した教員は令和8年度の論文指導演習担当者(指導教員)

授業科目名	区分	教員名	職名	学位	備考
日本古典研究 A	(講義)	○中村正明	教授		オムニバス形式
日本古典研究 B	(講義)	○伊藤龍平	教授	博士(文学・國學院大學)	オムニバス形式
海外日本文学研究	(講義)				休講
比較文学研究	(講義)				休講
対照言語研究 A I	(講義)				休講
対照言語研究 B I	(講義)				休講
対照言語研究 A II	(講義)	河崎みゆき	兼任講師	博士(文学・華中科技大学)	
対照言語研究 B II	(講義)	河崎みゆき	兼任講師	博士(文学・華中科技大学)	
関係外国語研究 A	(講義)				休講
関係外国語研究 B	(講義)				休講
日中古典比較研究 A	(講義)				休講
日中古典比較研究 B	(講義)	塚越義幸	兼任講師	博士(文学・國學院大學)	
アジア文化比較研究 A	(講義)	松尾恒一	兼任講師	博士(文学・國學院大學)	
アジア文化比較研究 B	(講義)	松尾恒一	兼任講師	博士(文学・國學院大學)	
アカデミック・ライティング AI	(講義)	牧野格子	兼任准教授	博士(文学・関西大学)	
アカデミック・ライティング B II	(講義)				休講
アカデミック・ライティング A III	(講義)	曹咏梅	兼任講師	博士(文学・國學院大學)	
日本古典実習 A	(実習)	渡邊卓	兼任准教授	博士(文学・國學院大學)	
日本古典実習 B	(実習)	新藤透	兼任教授	博士(学術・筑波大学)	
日本伝承文化実習	(実習)	○大石泰夫	教授	博士(文学・國學院大學)	
日本文学研究法	(講義)	○岩崎雅彦	教授	博士(文学・國學院大學)	オムニバス形式
日本語学研究法	(講義)	○三井はるみ	教授	博士(文学・東北大学)	オムニバス形式
中国文学研究法	(講義)	○石本道明	教授		オムニバス形式
伝承文学研究法	(講義)	○大石泰夫	教授	博士(文学・國學院大學)	オムニバス形式

授業科目名	区分	教員名	職名	学位	備考
日本語教育学研究法	(講義)	○諸 星 美智直	教 授	博士(文学・國學院大學)	オムニバス形式
日本上代文学研究A I	(演習)	○土 佐 秀 里	教 授	博士(文学・國學院大學)	
日本上代文学研究B I	(演習)	○土 佐 秀 里	教 授	博士(文学・國學院大學)	
日本上代文学研究A II	(演習)	○谷 口 雅 博	教 授	博士(文学・國學院大學)	
日本上代文学研究B II	(演習)	○谷 口 雅 博	教 授	博士(文学・國學院大學)	
日本中古文学研究A I	(演習)	○竹 内 正 彦	教 授	博士(文学・國學院大學)	
日本中古文学研究B I	(演習)	○竹 内 正 彦	教 授	博士(文学・國學院大學)	
日本中古文学研究A II	(演習)				休講
日本中古文学研究B II	(演習)				休講
日本中世文学研究A I	(演習)	○野 中 哲 照	教 授	博士(文学・早稲田大学)	
日本中世文学研究B I	(演習)	○野 中 哲 照	教 授	博士(文学・早稲田大学)	
日本近世文学研究A I	(演習)	○岩 崎 雅 彦	教 授	博士(文学・國學院大學)	
日本近世文学研究B I	(演習)	○岩 崎 雅 彦	教 授	博士(文学・國學院大學)	
日本近世文学研究A II	(演習)	○中 村 正 明	教 授		
日本近世文学研究B II	(演習)	○中 村 正 明	教 授		
日本近現代文学研究A I	(演習)	○石 川 則 夫	教 授	博士(文学・國學院大學)	
日本近現代文学研究B I	(演習)	○石 川 則 夫	教 授	博士(文学・國學院大學)	
日本近現代文学研究A II	(演習)	○安 西 晋 二	准 教 授	博士(文学・國學院大學)	
日本近現代文学研究B II	(演習)	○安 西 晋 二	准 教 授	博士(文学・國學院大學)	
日本古代語研究A I	(演習)	○小 田 勝	教 授	博士(文学・國學院大學)	
日本古代語研究B I	(演習)	○小 田 勝	教 授	博士(文学・國學院大學)	
日本古代語研究A II	(演習)	○吉 田 永 弘	教 授	博士(文学・國學院大學)	
日本古代語研究B II	(演習)	○吉 田 永 弘	教 授	博士(文学・國學院大學)	
日本近代語研究A	(演習)	○諸 星 美智直	教 授	博士(文学・國學院大學)	
日本近代語研究B	(演習)	○諸 星 美智直	教 授	博士(文学・國學院大學)	
日本現代語研究A	(演習)	○三 井 はるみ	教 授	博士(文学・東北大学)	
日本現代語研究B	(演習)	○三 井 はるみ	教 授	博士(文学・東北大学)	
中国文学研究A I	(演習)	○石 本 道 明	教 授		
中国文学研究B I	(演習)	○石 本 道 明	教 授		
中国文学研究A II	(演習)	○立 石 展 大	教 授	博士(文学・國學院大學)	
中国文学研究B II	(演習)	○立 石 展 大	教 授	博士(文学・國學院大學)	
中国文学研究A III	(演習)	○浅 野 春 二	教授(特別専任)	博士(文学・國學院大學)	
中国文学研究B III	(演習)	○浅 野 春 二	教授(特別専任)	博士(文学・國學院大學)	
中国文学研究A IV	(演習)				休講
中国文学研究B IV	(演習)				休講
伝承文学研究A I	(演習)				休講
伝承文学研究B I	(演習)				休講
伝承文学研究A II	(演習)	○伊 藤 龍 平	教 授	博士(文学・國學院大學)	
伝承文学研究B II	(演習)	○伊 藤 龍 平	教 授	博士(文学・國學院大學)	
伝統芸能研究A	(演習)	○大 石 泰 夫	教 授	博士(文学・國學院大學)	
伝統芸能研究B	(演習)	○大 石 泰 夫	教 授	博士(文学・國學院大學)	
民俗学研究A I	(演習)	○服 部 比呂美	教 授	博士(民俗学・國學院大學)	
民俗学研究B I	(演習)	○服 部 比呂美	教 授	博士(民俗学・國學院大學)	
民俗学研究A II	(演習)				休講
民俗学研究B II	(演習)				休講
民俗学研究A III	(演習)				休講
民俗学研究B III	(演習)				休講

授業科目名	区分	教員名	職名	学位	備考
日本文学史研究 A I	(講義)	上野 誠	兼任教授	博士(文学・國學院大學)	上代
日本文学史研究 B I	(講義)	上野 誠	兼任教授	博士(文学・國學院大學)	上代
日本文学史研究 A II	(講義)	荒木 優也	兼任准教授	博士(文学・國學院大學)	中古
日本文学史研究 B II	(講義)	荒木 優也	兼任准教授	博士(文学・國學院大學)	中古
日本文学史研究 A III	(講義)	疋田 雅昭	兼任講師	博士(文学・立教大学)	近現代
日本文学史研究 B III	(講義)	疋田 雅昭	兼任講師	博士(文学・立教大学)	近現代
日本文学特論 A I	(講義)	多田 元	兼任講師		上代
日本文学特論 B I	(講義)	多田 元	兼任講師		上代
日本文学特論 A II	(講義)	森野 正弘	兼任講師	博士(文学・國學院大學)	中古
日本文学特論 B II	(講義)	森野 正弘	兼任講師	博士(文学・國學院大學)	中古
日本文学特論 A III	(講義)	小林 健二	兼任講師	博士(文学・大阪大学)	中世
日本文学特論 B III	(講義)	小林 健二	兼任講師	博士(文学・大阪大学)	中世
日本文学特論 A IV	(講義)				近現代/休講
日本文学特論 B IV	(講義)				近現代/休講
日本語語法学 A I	(講義)	北澤 尚	兼任講師		
日本語語法学 B I	(講義)	北澤 尚	兼任講師		
日本語語法学 A II	(講義)	小柳 智一	兼任講師	博士(文学・國學院大學)	
日本語語法学 B II	(講義)	小柳 智一	兼任講師	博士(文学・國學院大學)	
日本語学史 A	(講義)	村山 昌俊	兼任講師	博士(文学・國學院大學)	
日本語学史 B	(講義)	村山 昌俊	兼任講師	博士(文学・國學院大學)	
日本語音韻史 A	(講義)	肥爪 周二	兼任講師	博士(文学・東京大学)	
日本語音韻史 B	(講義)	肥爪 周二	兼任講師	博士(文学・東京大学)	
日本語学特論 A I	(講義)	小林 隆	兼任講師	博士(文学・東北大学)	
日本語学特論 B I	(講義)	小林 隆	兼任講師	博士(文学・東北大学)	
日本語学特論 A II	(講義)				休講
日本語学特論 B II	(講義)				休講
中国文学史研究 A	(講義)	浅見 洋二	兼任講師	博士(文学・京都大学)	
中国文学史研究 B	(講義)	浅見 洋二	兼任講師	博士(文学・京都大学)	
中国文学特論 A I	(講義)				休講
中国文学特論 B I	(講義)	大橋 由美	兼任講師		
中国文学特論 A II	(講義)	種村 和史	兼任講師	博士(文学・慶應義塾大学)	
中国文学特論 B II	(講義)	種村 和史	兼任講師	博士(文学・慶應義塾大学)	
中国文学特論 A III	(講義)	澤崎 久和	兼任講師		
中国文学特論 B III	(講義)	澤崎 久和	兼任講師		
中国語学研究 A	(演習)				休講
中国語学研究 B	(演習)				休講
伝承文学史 A	(講義)	原 由来恵	兼任講師	博士(文学・二松学舎大学)	
伝承文学史 B	(講義)	原 由来恵	兼任講師	博士(文学・二松学舎大学)	
伝承文学特論 A I	(講義)				休講
伝承文学特論 B I	(講義)				休講
伝承文学特論 A II	(講義)				休講
伝承文学特論 B II	(講義)				休講
伝承文学特論 A III	(講義)	黒澤 直道	兼任教授	博士(学術・東京外国語大学)	
伝承文学特論 B III	(講義)	黒澤 直道	兼任教授	博士(学術・東京外国語大学)	
民俗学特論 A I	(講義)				休講
民俗学特論 B I	(講義)				休講

授業科目名	区分	教員名	職名	学位	備考
民俗学特論 A II	(講義)	宮内 貴久	兼任講師	博士(文学・筑波大学)	
民俗学特論 B II	(講義)	宮内 貴久	兼任講師	博士(文学・筑波大学)	
民俗学特論 A III	(講義)	関沢 まゆみ	兼任講師	博士(文学・筑波大学)	
民俗学特論 B III	(講義)	関沢 まゆみ	兼任講師	博士(文学・筑波大学)	
民俗学特論 A IV	(講義)	林 承緯	兼任講師	博士(文学・大阪大学)	
伝統芸能特論 A I	(講義)				休講
伝統芸能特論 B I	(講義)				休講
伝統芸能特論 A II	(講義)	俵木 悟	兼任講師	博士(学術・千葉大学)	
伝統芸能特論 B II	(講義)	俵木 悟	兼任講師	博士(学術・千葉大学)	
儀礼文化研究 A	(講義)	福原 敏男	兼任講師	博士(民俗学・國學院大學)	
儀礼文化研究 B	(講義)	福原 敏男	兼任講師	博士(民俗学・國學院大學)	
国語教育実践研究 A I	(演習)	○高山 実佐	教授		
国語教育実践研究 B I	(演習)	○高山 実佐	教授		
国語教育実践研究 A II	(演習)	○齋藤 智哉	教授		
国語教育実践研究 B II	(演習)	○齋藤 智哉	教授		
日本語教育研究 A I	(演習)	○諸星 美智直	教授	博士(文学・國學院大學)	
日本語教育研究 B I	(演習)	○諸星 美智直	教授	博士(文学・國學院大學)	
日本語教育研究 A II	(演習)	○植松 容子	准教授	博士(教育学・広島大学)	
日本語教育研究 B II	(演習)	○植松 容子	准教授	博士(教育学・広島大学)	
日本語教育研究 A III	(演習)	○菊地 康人	客員教授		
日本語教育研究 B III	(演習)	○菊地 康人	客員教授		
学校文法体系論 A	(講義)	矢澤 真人	兼任講師	博士(言語学・筑波大学)	
学校文法体系論 B	(講義)	矢澤 真人	兼任講師	博士(言語学・筑波大学)	
日本文学研究 A I	(講義)	沼尻 利通	兼任講師	博士(文学・國學院大學)	古典
日本文学研究 B I	(講義)	沼尻 利通	兼任講師	博士(文学・國學院大學)	古典
日本文学研究 A II	(講義)	高橋 大助	兼担教授		
日本文学研究 B II	(講義)	高橋 大助	兼担教授		
漢文学研究 A	(講義)	青木 洋司	兼担准教授	博士(文学・九州大学)	
漢文学研究 B	(講義)	青木 洋司	兼担准教授	博士(文学・九州大学)	
国語教育学研究 A	(講義)	眞有 澄香	兼任講師	博士(文学・國學院大學) 博士(教育学・東京学芸大学)	
国語教育学研究 B	(講義)	眞有 澄香	兼任講師	博士(文学・國學院大學) 博士(教育学・東京学芸大学)	
教科書研究 A	(講義)	幸田 国広	兼任講師	博士(教育学・早稲田大学)	
教科書研究 B	(講義)	幸田 国広	兼任講師	博士(教育学・早稲田大学)	
教育法規研究 A	(講義)	高木 加奈絵	兼任講師		
教育法規研究 B	(講義)	高木 加奈絵	兼任講師		
日本語教授法実践	(講義)	中村 かおり	兼任講師	博士(総合社会文化・日本大学)	
日本語教授法研究	(講義)	中村 かおり	兼任講師	博士(総合社会文化・日本大学)	
日本語教育教材研究 A	(講義)	伊藤 孝行	兼任講師	博士(文学・國學院大學)	
日本語教育教材研究 B	(講義)	伊藤 孝行	兼任講師	博士(文学・國學院大學)	
第二言語習得論 A	(講義)	西坂 祥平	兼任講師	博士(学術・名古屋大学)	
第二言語習得論 B	(講義)	西坂 祥平	兼任講師	博士(学術・名古屋大学)	
日本語教育文法 A	(講義)	北澤 尚	兼任講師		
日本語教育文法 B	(講義)	北澤 尚	兼任講師		
日本語音声学 A	(講義)	松崎 寛	兼任講師	博士(言語学・筑波大学)	
日本語音声学 B	(講義)	松崎 寛	兼任講師	博士(言語学・筑波大学)	

授業科目名	区分	教員名	職名	学位	備考
応用言語学 A	(講義)	宇佐美 まゆみ	兼任講師	Ed.D(ハーバード大学)	
応用言語学 B	(講義)	宇佐美 まゆみ	兼任講師	Ed.D(ハーバード大学)	
教育方法学研究 A	(講義)				休講
教育方法学研究 B	(講義)				休講

## 博士前期課程〔文学研究科／史学専攻〕

注) ○印を付した教員は令和8年度の論文指導演習担当者(指導教員)

授業科目名	区分	教員名	職名	学位	備考
史学方法論研究 I	(講義)	○樋口 秀実	教授	博士(歴史学・國學院大學)	オムニバス形式
史学方法論研究 II	(講義)	○樋口 秀実	教授	博士(歴史学・國學院大學)	オムニバス形式
日本古代史研究 A I	(演習)	○佐藤 長門	教授	博士(歴史学・國學院大學)	
日本古代史研究 B I	(演習)	○佐藤 長門	教授	博士(歴史学・國學院大學)	
日本古代史特論 A I	(講義)	田島 公	兼任講師	博士(文学・京都大学)	
日本古代史特論 B I	(講義)	田島 公	兼任講師	博士(文学・京都大学)	
日本古代史特論 A II	(講義)	神谷 正昌	兼任講師		
日本古代史特論 B II	(講義)	神谷 正昌	兼任講師		
日本古代史特論 A III	(講義)				休講
日本古代史特論 III	(講義)				休講
日本中世史研究 A I	(演習)	○高橋 秀樹	教授	博士(史学・学習院大学)	
日本中世史研究 B I	(演習)	○高橋 秀樹	教授	博士(史学・学習院大学)	
日本中世史研究 A II	(演習)	○矢部 健太郎	教授	博士(歴史学・國學院大學)	
日本中世史研究 B II	(演習)	○矢部 健太郎	教授	博士(歴史学・國學院大學)	
日本中世史特論 A	(講義)	金子 拓	兼任講師	博士(文学・東北大学)	
日本中世史特論 B	(講義)	金子 拓	兼任講師	博士(文学・東北大学)	
日本近世史研究 A I	(演習)	○吉岡 孝	教授	博士(歴史学・國學院大學)	
日本近世史研究 B I	(演習)	○吉岡 孝	教授	博士(歴史学・國學院大學)	
日本近世史研究 A II	(演習)				休講
日本近世史研究 B II	(演習)				休講
日本近世史特論 A I	(講義)	大友 一雄	兼任講師	博士(歴史学・國學院大學)	
日本近世史特論 B I	(講義)	大友 一雄	兼任講師	博士(歴史学・國學院大學)	
日本近世史特論 A II	(講義)	佐藤 孝之	兼任講師	博士(歴史学・國學院大學)	
日本近世史特論 B II	(講義)	佐藤 孝之	兼任講師	博士(歴史学・國學院大學)	
日本近現代史研究 A I	(演習)	○樋口 秀実	教授	博士(歴史学・國學院大學)	
日本近現代史研究 B I	(演習)	○樋口 秀実	教授	博士(歴史学・國學院大學)	
日本近現代史研究 A II	(演習)	○多和田 真理子	教授		
日本近現代史研究 B II	(演習)	○多和田 真理子	教授		
日本近現代史研究 A III	(演習)	○手塚 雄太	教授	博士(歴史学・國學院大學)	
日本近現代史研究 B III	(演習)	○手塚 雄太	教授	博士(歴史学・國學院大學)	
日本近現代史特論 A I	(講義)				休講
日本近現代史特論 B I	(講義)	徐 顕 芬	兼任講師	博士(政治学・早稲田大学) 博士(歴史学・南開大学)	
日本近現代史特論 A II	(講義)	櫻井 良樹	兼任講師	博士(史学・上智大学)	
日本近現代史特論 B II	(講義)				休講
日本近現代史特論 A III	(講義)				休講
日本近現代史特論 B III	(講義)				休講

授業科目名	区分	教員名	職名	学位	備考
宗教史科学研究 A	(演習)				休講
宗教史科学研究 B	(演習)				休講
日本史研究 A I	(講義)	○佐藤長門	教授	博士(歴史学・國學院大學)	
日本史研究 B I	(講義)	○佐藤長門	教授	博士(歴史学・國學院大學)	
日本史研究 A II	(講義)				休講
日本史研究 B II	(講義)				休講
日本史研究 A III	(講義)				休講
日本史研究 B III	(講義)				休講
歴史地理学研究 A	(演習)	○川名禎	准教授	博士(歴史学・國學院大學)	
歴史地理学研究 B	(演習)	○川名禎	准教授	博士(歴史学・國學院大學)	
歴史地理学特論 A	(講義)				休講
歴史地理学特論 B	(講義)	橋村修	兼任講師	博士(歴史学・國學院大學)	
比較地誌学研究 A	(演習)				休講
比較地誌学研究 B	(演習)				休講
比較地誌学特論 A	(講義)	三木一彦	兼任講師	博士(文学・筑波大学)	
比較地誌学特論 B	(講義)	赤松加寿江	兼任准教授	博士(美術・東京藝術大学)	
地図学研究 A	(演習)	○吉田敏弘	客員教授		
地図学研究 B	(演習)	○吉田敏弘	客員教授		
地図学特論 A	(講義)				休講
地図学特論 B	(講義)				休講
日本思想史特論 A	(講義)				休講
日本思想史特論 B	(講義)				休講
東洋史研究 A I	(演習)	○江川式部	准教授	博士(史学・明治大学)	
東洋史研究 B I	(演習)	○江川式部	准教授	博士(史学・明治大学)	
東洋史研究 A II	(演習)				休講
東洋史研究 B II	(演習)				休講
東洋史特論 A I	(講義)	櫻井智美	兼任講師	博士(文学・京都大学)	
東洋史特論 B I	(講義)	櫻井智美	兼任講師	博士(文学・京都大学)	
東洋史特論 A II	(講義)				休講
東洋史特論 B II	(講義)				休講
東アジア史研究 A I	(演習)				休講
東アジア史研究 B I	(演習)				休講
東アジア史特論 A	(講義)				休講
東アジア史特論 B	(講義)				休講
西洋史研究 A I	(演習)	○神長英輔	教授	博士(学術・東京大学)	
西洋史研究 B I	(演習)	○神長英輔	教授	博士(学術・東京大学)	
西洋史研究 A II	(演習)				休講
西洋史研究 B II	(演習)				休講
西洋史特論 A	(講義)				休講
西洋史特論 B	(講義)				休講
比較文化史研究 A	(演習)				休講
比較文化史研究 B	(演習)				休講
比較文化史特論 A	(講義)	市川裕	兼任講師		
比較文化史特論 B	(講義)	市川裕	兼任講師		
東洋思想史特論 A	(講義)				休講
東洋思想史特論 B	(講義)				休講

授業科目名	区分	教員名	職名	学位	備考
西洋思想史特論 A	(講義)				休講
西洋思想史特論 B	(講義)				休講
日本考古学研究 A	(演習)				休講
日本考古学研究 B	(演習)				休講
日本考古学特論 A	(講義)	福尾正彦	兼任講師		
日本考古学特論 B	(講義)	池田榮史	兼任教授		
先史考古学研究 A	(演習)	○谷口康浩	准教授	博士(歴史学・國學院大學)	
先史考古学研究 B	(演習)	○谷口康浩	准教授	博士(歴史学・國學院大學)	
先史考古学特論 A	(講義)	設楽博己	兼任講師	博士(文学・筑波大学)	
先史考古学特論 B	(講義)	設楽博己	兼任講師	博士(文学・筑波大学)	
先史考古学特論 A II	(講義)				休講
先史考古学特論 B II	(講義)	阿部昭典	兼任講師	博士(歴史学・國學院大學)	
歴史考古学研究 A	(演習)	○青木敬	教授	博士(歴史学・國學院大學)	
歴史考古学研究 B	(演習)	○青木敬	教授	博士(歴史学・國學院大學)	
歴史考古学特論 A I	(講義)	○青木敬	教授	博士(歴史学・國學院大學)	
歴史考古学特論 B I	(講義)	○青木敬	教授	博士(歴史学・國學院大學)	
歴史考古学特論 A II	(講義)	古谷毅	兼任講師		
歴史考古学特論 B II	(講義)	古谷毅	兼任講師		
外国考古学研究 A	(演習)				休講
外国考古学研究 B	(演習)				休講
外国考古学特論 A	(講義)				休講
外国考古学特論 B	(講義)				休講
理論考古学研究 A	(演習)	○谷口康浩	准教授	博士(歴史学・國學院大學)	
理論考古学研究 B	(演習)	○谷口康浩	准教授	博士(歴史学・國學院大學)	
理論考古学特論 A	(講義)				休講
理論考古学特論 B	(講義)				休講
環境考古学研究 A	(演習)				休講
環境考古学研究 B	(演習)				休講
環境考古学特論 A	(講義)				休講
環境考古学特論 B	(講義)	山崎京美	兼任講師		
民族考古学特論 A	(講義)	佐藤宏之	兼任講師	博士(文学・法政大学)	
民族考古学特論 B	(講義)	佐藤宏之	兼任講師	博士(文学・法政大学)	
考古学研究 A	(演習)				休講
考古学研究 B	(演習)				休講
考古学特論 A	(講義)	○谷口康浩	准教授	博士(歴史学・國學院大學)	
考古学特論 B	(講義)				休講
考古学実習 A	(実習)	○青木敬	教授	博士(歴史学・國學院大學)	
考古学実習 B	(実習)	○谷口康浩	准教授	博士(歴史学・國學院大學)	
美学研究 A	(演習)	○岡本源太	教授	博士(人間・環境学・京都大学)	
美学研究 B	(演習)	○岡本源太	教授	博士(人間・環境学・京都大学)	
美学特論 A	(講義)				休講
美学特論 B	(講義)				休講
美術史研究 A I	(演習)	○三浦篤	教授	博士(美術史・考古学・パリ第4大学)	
美術史研究 B I	(演習)	○三浦篤	教授	博士(美術史・考古学・パリ第4大学)	
美術史研究 A II	(演習)	○藤澤紫	教授	博士(哲学・学習院大学)	
美術史研究 B II	(演習)	○藤澤紫	教授	博士(哲学・学習院大学)	

授業科目名	区分	教員名	職名	学位	備考
美術史研究AⅢ	(演習)	○小池寿子	客員教授		
美術史研究BⅢ	(演習)	○小池寿子	客員教授		
美術史特論A	(講義)				休講
美術史特論B	(講義)	福田恭子	兼任講師	博士(美学・慶應義塾大学)	
芸術学研究A	(演習)				休講
芸術学研究B	(演習)				休講
芸術学特論AⅠ	(講義)	田中潤	兼任講師	博士(史学・学習院大学)	
芸術学特論BⅠ	(講義)	田中潤	兼任講師	博士(史学・学習院大学)	
芸術学特論AⅡ	(講義)	外山紀久子	兼任講師	博士(文学・東京大学)	
芸術学特論BⅡ	(講義)	外山紀久子	兼任講師	博士(文学・東京大学)	
比較芸術学研究A	(演習)				休講
比較芸術学研究B	(演習)				休講
比較芸術学特論AⅠ	(講義)	藤澤茜	兼任講師	博士(日本語日本文学・学習院大学)	
比較芸術学特論BⅠ	(講義)	藤澤茜	兼任講師	博士(日本語日本文学・学習院大学)	
比較芸術学特論AⅡ	(講義)				休講
比較芸術学特論BⅡ	(講義)				休講
比較芸術学特論AⅢ	(講義)				休講
比較芸術学特論BⅢ	(講義)				休講
芸術情報論A	(講義)	三宅秀和	兼任講師	博士(哲学・学習院大学)	
芸術情報論B	(講義)	渡邊晃	兼任講師	博士(芸術学・筑波大学)	
資料保存展示論研究A	(演習)	○内川隆志	教授		
資料保存展示論研究B	(演習)	○内川隆志	教授		
資料保存展示論研究AⅡ	(演習)	○山本哲也	教授		
資料保存展示論研究BⅡ	(演習)	○山本哲也	教授		
地域博物館論研究A	(演習)	○山本哲也	教授		
地域博物館論研究B	(演習)	○山本哲也	教授		
博物館史特論	(講義)	金山喜昭	兼任講師	博士(歴史学・法政大学)	
博物館学史特論	(講義)	○山本哲也	教授		
欧米博物館史特論	(講義)	金山喜昭	兼任講師	博士(歴史学・法政大学)	
博物館関係法規特論	(講義)	栗原祐司	兼任講師		
博物館資料論特論AⅠ	(講義)				休講
博物館資料論特論BⅠ	(講義)	井本悠紀	兼任講師		
博物館資料論特論AⅡ	(講義)				休講
博物館資料論特論BⅡ	(講義)	池田榮史	兼任教授		
博物館経営特論	(講義)	井上洋一	兼任講師		
博物館教育活動特論	(講義)	駒見和夫	兼任講師	博士(歴史学・國學院大學)	
展示工学特論	(講義)	山田磯夫	兼任講師	博士(文学・早稲田大学)	
博物館学専門実習AⅠ	(実習)	○内川隆志	教授		オムニバス(内川・大東・深澤)
博物館学専門実習BⅠ	(実習)	○内川隆志	教授		オムニバス(内川・大東・深澤)
博物館学専門実習AⅡ	(実習)	○内川隆志	教授		インターンシップ
博物館学専門実習BⅡ	(実習)	○内川隆志	教授		インターンシップ
史学理論特論A	(講義)				休講
史学理論特論B	(講義)				休講
史料学研究A	(演習)				休講
史料学研究B	(演習)				休講
史料学特論AⅠ	(講義)	榎原雅治	兼任講師	博士(文学・東京大学)	
史料学特論BⅠ	(講義)	榎原雅治	兼任講師	博士(文学・東京大学)	

授業科目名	区分	教員名	職名	学位	備考
史科学特論 A II	(講義)				休講
史科学特論 B II	(講義)				休講
文化人類学研究 A	(演習)				休講
文化人類学研究 B	(演習)				休講
文化人類学特論 A	(講義)				休講
文化人類学特論 B	(講義)				休講
文化財学研究 A	(演習)				休講
文化財学研究 B	(演習)				休講
文化財学特論 A	(講義)	水ノ江 和 同	兼任講師	博士(文化史学・同志社大学)	
文化財学特論 B	(講義)	井上 洋 一	兼任講師		
社会科教育学研究 A	(研究)				休講
社会科教育学研究 B	(研究)				休講
地理科教育学研究 A	(講義)				休講
地理科教育学研究 B	(講義)				休講
歴史科教育学研究 A	(講義)				休講
歴史科教育学研究 B	(講義)				休講
史料管理学 A	(講義)	○岩橋 清美	教授	博士(史学・中央大学)	
史料管理学 B	(講義)	○岩橋 清美	教授	博士(史学・中央大学)	

## 博士前期課程〔法学研究科／法律学専攻〕

注) ○印を付した教員は令和8年度の研究指導・論文指導演習担当者(指導教員)

授業科目名	区分	教員名	職名	学位	備考
法哲学研究 A	(講義)				休講
法哲学研究 B	(講義)				休講
日本法制史研究 A	(講義)	○長又 高夫	教授	博士(法学・國學院大學)	
日本法制史研究 B	(講義)	○長又 高夫	教授	博士(法学・國學院大學)	
日本法制史研究 A	(講義)				休講
日本法制史研究 B	(講義)				休講
東洋法制史研究 A	(講義)	速水 大	兼任講師	博士(歴史学・國學院大學)	
東洋法制史研究 B	(講義)	速水 大	兼任講師	博士(歴史学・國學院大學)	
西洋法制史研究 A	(講義)	松本 英実	兼任講師	法学博士(パリ第2大学)	
西洋法制史研究 B	(講義)	松本 英実	兼任講師	法学博士(パリ第2大学)	
外国法研究 A	(講義)				休講
外国法研究 B	(講義)	○捧 剛	教授		
外国法実践研究	(講義)	○捧 剛	教授		
憲法研究 A	(講義)	○植村 勝慶	教授		
憲法研究 B	(講義)				休講
憲法実践研究	(講義)	○植村 勝慶	教授		
憲法研究 A	(講義)				休講
憲法研究 B	(講義)	○平地 秀哉	教授		
憲法実践研究	(講義)	○平地 秀哉	教授		
憲法研究 A	(講義)	○福岡 英明	教授	博士(法学・中央大学)	
憲法研究 B	(講義)				休講
憲法実践研究	(講義)	○福岡 英明	教授	博士(法学・中央大学)	

授業科目名	区分	教員名	職名	学位	備考
行政法研究 A	(講義)				休講
行政法研究 B	(講義)				休講
行政法実践研究	(講義)	○高橋 信行	教授	博士(法学・東京大学)	
行政法研究 A	(講義)	○川合 敏樹	教授		
行政法研究 B	(講義)				休講
行政法実践研究	(講義)	○川合 敏樹	教授		
国際法研究 A	(講義)				休講
国際法研究 B	(講義)	江藤 淳一	兼任講師		
国際法実践研究	(講義)	江藤 淳一	兼任講師		
刑法研究 A	(講義)	山下 裕樹	兼任准教授	博士(法学・関西大学)	
刑法研究 B	(講義)	山下 裕樹	兼任准教授	博士(法学・関西大学)	
刑法実践研究	(講義)				休講
刑法研究 A	(講義)	○甘利 航司	教授	博士(法学・一橋大学)	
刑法研究 B	(講義)				休講
刑法実践研究	(講義)	○甘利 航司	教授	博士(法学・一橋大学)	
刑事訴訟法研究 A	(講義)	○中川 孝博	教授	博士(法学・一橋大学)	
刑事訴訟法研究 B	(講義)	○中川 孝博	教授	博士(法学・一橋大学)	
刑事政策研究 A	(講義)	○安田 恵美	教授	博士(法学・大阪市立大学)	
刑事政策研究 B	(講義)	○安田 恵美	教授	博士(法学・大阪市立大学)	
民法研究 A	(講義)				休講
民法研究 B	(講義)	○佐藤 秀勝	教授	博士(法学・一橋大学)	
民法実践研究	(講義)	○佐藤 秀勝	教授	博士(法学・一橋大学)	
民法研究 A	(講義)				休講
民法研究 B	(講義)				休講
民法研究 A	(講義)				休講
民法研究 B	(講義)	古賀 絢子	兼任准教授		
民法実践研究	(講義)	古賀 絢子	兼任准教授		
民法研究 A	(講義)				休講
民法研究 B	(講義)				休講
民法研究 A	(講義)	○一木 孝之	教授	博士(法学・早稲田大学)	
民法研究 B	(講義)				休講
民法実践研究	(講義)	○一木 孝之	教授	博士(法学・早稲田大学)	
民法研究 A	(講義)				休講
民法研究 B	(講義)				休講
民法実践研究	(講義)				休講
民事訴訟法研究 A	(講義)	○佐古田 真紀子	教授		
民事訴訟法研究 B	(講義)	○佐古田 真紀子	教授		
民事訴訟法研究 A	(講義)	大江 毅	兼任准教授		
民事訴訟法研究 B	(講義)	大江 毅	兼任准教授		
商法研究 A	(講義)	○鈴木 達次	教授		
商法研究 B	(講義)				休講
商法実践研究	(講義)	○鈴木 達次	教授		
商法研究 A	(講義)	○森川 隆	教授		
商法研究 B	(講義)	○森川 隆	教授		
商法研究 A	(講義)				休講
商法研究 B	(講義)	○中曾根 玲子	教授		
商法実践研究	(講義)	○中曾根 玲子	教授		

授業科目名	区分	教員名	職名	学位	備考
労働法研究 A	(講義)				休講
労働法研究 B	(講義)	○本久洋一	教授		
労働法実践研究	(講義)	○本久洋一	教授		
国際私法研究 A	(講義)				休講
国際私法研究 B	(講義)				休講
政治学研究 A	(講義)	上神貴佳	兼任講師	博士(法学・東京大学)	
政治学研究 B	(講義)	上神貴佳	兼任講師	博士(法学・東京大学)	
政治学研究 A	(講義)				休講
政治学研究 B	(講義)				休講
政治学研究 A	(講義)	○山本健太郎	教授	博士(学術・東京大学)	
政治学研究 B	(講義)	○山本健太郎	教授	博士(学術・東京大学)	
政治学研究 A	(講義)	○藤嶋亮	教授	博士(法学・東京大学)	
政治学研究 B	(講義)	○藤嶋亮	教授	博士(法学・東京大学)	
政治学実践研究	(講義)				休講
行政学研究 A	(講義)	○稲垣浩	教授	博士(政治学・東京都立大学)	
行政学研究 B	(講義)	○稲垣浩	教授	博士(政治学・東京都立大学)	
西洋政治史研究 A	(講義)				休講
西洋政治史研究 B	(講義)				休講
日本政治史研究 A	(講義)	○坂本一登	教授	法学博士(東京都立大学)	
日本政治史研究 B	(講義)	○坂本一登	教授	法学博士(東京都立大学)	
西洋政治思想史研究 A	(講義)	○菊田真司	教授		
西洋政治思想史研究 B	(講義)	○菊田真司	教授		
日本政治思想史研究 A	(講義)	小原薫	兼任准教授		
日本政治思想史研究 B	(講義)	小原薫	兼任准教授		
国際関係史研究 A	(講義)	川嶋周一	兼任講師	博士(法学・北海道大学)	
国際関係史研究 B	(講義)	川嶋周一	兼任講師	博士(法学・北海道大学)	
国際政治研究 A	(講義)	石田憲	兼任講師	博士(法学・東京大学)	
国際政治研究 B	(講義)	石田憲	兼任講師	博士(法学・東京大学)	
公共政策演習 B	(演習)				未定
公共政策演習 B	(演習)	松尾聖司	兼任講師		
法律学特殊研究 A	(演習)	○廣瀬美佳	教授		
法律学特殊研究 B	(演習)	○廣瀬美佳	教授		
法律学特殊研究 A	(演習)				休講
法律学特殊研究 B	(演習)				休講
法律学特殊研究 A	(演習)	小川亮	兼任准教授	博士(法学・東京大学)	
法律学特殊研究 B	(演習)	小川亮	兼任准教授	博士(法学・東京大学)	
法律学特殊研究 A	(演習)	○高内寿夫	教授	法学博士(國學院大學)	
法律学特殊研究 B	(演習)	○高内寿夫	教授	法学博士(國學院大學)	
法律学特殊研究 A	(演習)	川村尚子	兼任准教授		
法律学特殊研究 B	(演習)	川村尚子	兼任准教授		
政治学特殊研究 A	(演習)	羅芝賢	兼任准教授	博士(法学・東京大学)	
政治学特殊研究 B	(演習)	羅芝賢	兼任准教授	博士(法学・東京大学)	
キャリア・プランニング A	(演習)	荻野徹	兼任講師		
キャリア・プランニング B	(演習)	前田順一郎	兼任講師		
研究指導 A		専任教員全員			
研究指導 B		専任教員全員			
論文指導演習 A	(演習)	専任教員全員			
論文指導演習 B	(演習)	専任教員全員			

## 博士前期課程〔経済学研究科／経済学専攻〕

注1) コース共通：1年次前期に「研究方法と倫理」を履修すること、それぞれ当該の列に★印を付した授業科目の中から12単位以上を修得すること、1年次は「研究指導」、2年次は「論文指導演習」を履修すること。

注2) キャリア・コース：1年次後期に「税務特講」を履修すること。

授業科目名	区分	教員名	職名	学位	アカデミック コース	キャリア コース	備考
理論経済学特論 A I	(講義)	細谷 圭	教授	博士(経済学・一橋大学)	★	★	
理論経済学特論 B I	(講義)	細谷 圭	教授	博士(経済学・一橋大学)	★	★	
理論経済学特論 A II	(講義)				★	★	休講
理論経済学特論 B II	(講義)				★	★	休講
経済学史特論 A I	(講義)				★		休講
経済学史特論 B I	(講義)	尾近 裕幸	教授		★		
貨幣金融特論 A I	(講義)				★	★	休講
貨幣金融特論 B I	(講義)	木村 秀史	教授	博士(経済学・國學院大學)	★	★	
貨幣金融特論 A II	(講義)	齊藤 誠	教授	Ph.D.(Economics・Massachusetts Institute of Technology)	★	★	
貨幣金融特論 B II	(講義)				★	★	休講
財政学特論 A I	(講義)	櫻井 潤	教授	博士(経済学・中央大学)	★	★	
財政学特論 B I	(講義)				★	★	休講
財政学特論 A II	(講義)				★	★	休講
財政学特論 B II	(講義)	根岸 毅宏	教授	博士(経済学・國學院大學)	★	★	
経済政策特論 A I	(講義)				★		休講
経済政策特論 B I	(講義)				★		休講
経済政策特論 A II	(講義)				★		休講
経済政策特論 B II	(講義)	林 行成	教授		★		
経済政策特論 A III	(講義)				★		休講
経済政策特論 B III	(講義)				★		休講
経済政策特論 A IV	(講義)	山本 健太	教授	博士(理学・東北大学)	★		
経済政策特論 B IV	(講義)				★		休講
国際経済特論 A I	(講義)				★		休講
国際経済特論 B I	(講義)	高橋 克秀	教授		★	★	
国際経済特論 A II	(講義)	中馬 祥子	教授		★		
国際経済特論 B II	(講義)				★		休講
国際経済特論 A III	(講義)				★		休講
国際経済特論 B III	(講義)	細井 長	教授	博士(経営学・立命館大学)	★		
社会政策特論 A I	(講義)	水無田 気流	教授		★		
社会政策特論 B I	(講義)				★		休講
社会政策特論 A II	(講義)				★		休講
社会政策特論 B II	(講義)				★		休講
社会政策特論 A III	(講義)				★		休講
社会政策特論 B III	(講義)	小木曾 道夫	教授	文学博士(上智大学)	★		
社会政策特論 A IV	(講義)				★		休講
社会政策特論 B IV	(講義)	田原 裕子	教授	博士(学術・東京大学)	★		
社会政策特論 A V	(講義)				★		休講
社会政策特論 B V	(講義)	大西 祥恵	教授	博士(経済学・大阪市立大学)	★		
統計学特論 A	(講義)	高木 康順	准教授		★		
統計学特論 B	(講義)				★		休講
経済史特論 A I	(講義)	杉山里 枝	教授	博士(経済学・東京大学)	★		
経済史特論 B I	(講義)				★		休講

授業科目名	区分	教員名	職名	学位	アカデミック コース	キャリア コース	備考
経済史特論 A II	(講義)	尾崎 麻弥子	准教授		★		
経済史特論 B II	(講義)				★		休講
計量経済学特論 A	(講義)				★		休講
計量経済学特論 B	(講義)	高木 康順	准教授		★		
経営学特論 A I	(講義)	尾田 基	教授	博士(商学・一橋大学)	★	★	
経営学特論 B I	(講義)	尾田 基	教授	博士(商学・一橋大学)	★	★	
経営学特論 A II	(講義)	星野 広和	教授	博士(経営学・東北大学)	★		
経営学特論 B II	(講義)				★		休講
経営学特論 A III	(講義)	小野 正人	教授	博士(経済学・國學院大學)	★		
経営学特論 B III	(講義)				★		休講
経営学特論 A IV	(講義)				★		休講
経営学特論 B IV	(講義)				★		休講
経営学特論 A V	(講義)	藤山 圭	准教授		★		
経営学特論 B V	(講義)				★		休講
経営学特論 A VI	(講義)	芳賀 英明	准教授		★		
経営学特論 B VI	(講義)				★		休講
経営学特論 A VII	(講義)				★		休講
経営学特論 B VII	(講義)	宮下 雄治	教授	博士(経済学・國學院大學)	★		
経営学特論 A VIII	(講義)	手塚 貞治	教授	博士(学術・東京大学)	★		
経営学特論 B VIII	(講義)				★		休講
経営学特論 A IX	(講義)				★		休講
経営学特論 B IX	(講義)	鈴木 智之	教授	博士(工学・東京工業大学)	★		
会计学特論 A I	(講義)				★		休講
会计学特論 B I	(講義)				★	★	休講
会计学特論 A II	(講義)				★	★	休講
会计学特論 B II	(講義)				★	★	休講
会计学特論 A III	(講義)				★	★	休講
会计学特論 B III	(講義)	中田 有祐	准教授		★	★	
経営史特論 A	(講義)				★		休講
経営史特論 B	(講義)				★		休講
税務特論 A I	(講義)	日野 雅彦	教授(特別専任)		★	★	
税務特論 B I	(講義)	日野 雅彦	教授(特別専任)		★	★	
税務特論 A II	(講義)	木上 律子	客員教授		★	★	
税務特論 B II	(講義)	木上 律子	客員教授		★	★	
税務特論 A III	(講義)	梶野 泰子	客員教授		★	★	
税務特論 B III	(講義)	梶野 泰子	客員教授		★	★	
税務特論 A IV	(講義)	原 省三	教授(特別専任)		★	★	
税務特論 B IV	(講義)	原 省三	教授(特別専任)		★	★	
税法総論 A	(講義)				★	★	休講
税法総論 B	(講義)				★	★	休講
税務特講	(講義)	木上 律子	客員教授			コース 必修	
研究方法と倫理 I	(講義)	小木曾 道夫	教授	文学博士(上智大学)	必修		
研究方法と倫理 II	(講義)	日野 雅彦	教授(特別専任)			必修	
論文指導演習 A	(演習)	専任教員全員					
論文指導演習 B	(演習)	専任教員全員					

注1) 実際に指導可能な教員の一覧は、[大学HP](#) (大学院入試情報) 上の情報が最新かつ正確なものとなりますので、リンク先をご確認ください。

<https://www.kokugakuin.ac.jp/admission/graduate/p1-2>

注2) 客員教授、兼任講師は指導教員になることができません。

## 博士後期課程〔文学研究科／神道学・宗教学専攻〕

注) ○印を付した教員は令和8年度の論文指導演習担当者(指導教員)

授業科目名	区分	教員名	職名	学位	備考
神道神学特殊研究AⅠ	(演習)	○西岡和彦	教授	博士(神道学・國學院大學)	
神道神学特殊研究BⅠ	(演習)	○西岡和彦	教授	博士(神道学・國學院大學)	
神道神学特殊研究AⅡ	(演習)				休講
神道神学特殊研究BⅡ	(演習)				休講
神道史特殊研究AⅠ	(演習)	○加瀬直弥	教授	博士(神道学・國學院大學)	
神道史特殊研究BⅠ	(演習)	○加瀬直弥	教授	博士(神道学・國學院大學)	
神道史特殊研究AⅡ	(演習)	○武田秀章	教授	博士(神道学・國學院大學)	
神道史特殊研究BⅡ	(演習)	○武田秀章	教授	博士(神道学・國學院大學)	
神社史特殊研究AⅠ	(演習)	○笹生衛	教授	博士(宗教学・國學院大學)	
神社史特殊研究BⅠ	(演習)	○笹生衛	教授	博士(宗教学・國學院大學)	
神社史特殊研究AⅡ	(演習)	○藤本頼生	教授	博士(神道学・國學院大學)	
神社史特殊研究BⅡ	(演習)	○藤本頼生	教授	博士(神道学・國學院大學)	
神道古典特殊研究A	(演習)	○松本久史	教授	博士(神道学・國學院大學)	
神道古典特殊研究B	(演習)	○松本久史	教授	博士(神道学・國學院大學)	
宗教学特殊研究AⅠ	(演習)	○遠藤潤	教授	博士(宗教学・國學院大學)	
宗教学特殊研究BⅠ	(演習)	○遠藤潤	教授	博士(宗教学・國學院大學)	
宗教学特殊研究AⅡ	(演習)	○エリック シッケタンツ	准教授	博士(文学・東京大学)	
宗教学特殊研究BⅡ	(演習)	○エリック シッケタンツ	准教授	博士(文学・東京大学)	
宗教社会学特殊研究AⅠ	(演習)				休講
宗教社会学特殊研究BⅠ	(演習)				休講
宗教社会学特殊研究AⅡ	(演習)	○黒崎浩行	教授	博士(宗教学・國學院大學)	
宗教社会学特殊研究BⅡ	(演習)	○黒崎浩行	教授	博士(宗教学・國學院大學)	
宗教行政特殊研究A	(演習)				休講
宗教行政特殊研究B	(演習)				休講

## 博士後期課程〔文学研究科／文学専攻〕

注) ○印を付した教員は令和8年度の論文指導演習担当者(指導教員)

授業科目名	区分	教員名	職名	学位	備考
日本上代文学特殊研究AⅠ	(演習)	○土佐秀里	教授	博士(文学・國學院大學)	
日本上代文学特殊研究BⅠ	(演習)	○土佐秀里	教授	博士(文学・國學院大學)	
日本上代文学特殊研究AⅡ	(演習)	○谷口雅博	教授	博士(文学・國學院大學)	
日本上代文学特殊研究BⅡ	(演習)	○谷口雅博	教授	博士(文学・國學院大學)	
日本中古文学特殊研究AⅠ	(演習)	○竹内正彦	教授	博士(文学・國學院大學)	
日本中古文学特殊研究BⅠ	(演習)	○竹内正彦	教授	博士(文学・國學院大學)	
日本中古文学特殊研究AⅡ	(演習)				休講
日本中古文学特殊研究BⅡ	(演習)				休講
日本中世文学特殊研究AⅠ	(演習)	○野中哲照	教授	博士(文学・早稲田大学)	
日本中世文学特殊研究BⅠ	(演習)	○野中哲照	教授	博士(文学・早稲田大学)	
日本近世文学特殊研究AⅠ	(演習)	○岩崎雅彦	教授	博士(文学・國學院大學)	
日本近世文学特殊研究BⅠ	(演習)	○岩崎雅彦	教授	博士(文学・國學院大學)	
日本近世文学特殊研究AⅡ	(演習)	○中村正明	教授		
日本近世文学特殊研究BⅡ	(演習)	○中村正明	教授		

授業科目名	区分	教員名	職名	学位	備考
日本近現代文学特殊研究A I	(演習)	○石川 則夫	教授	博士(文学・國學院大學)	
日本近現代文学特殊研究B I	(演習)	○石川 則夫	教授	博士(文学・國學院大學)	
日本近現代文学特殊研究A II	(演習)	○安西 晋二	准教授	博士(文学・國學院大學)	
日本近現代文学特殊研究B II	(演習)	○安西 晋二	准教授	博士(文学・國學院大學)	
日本古代語特殊研究A I	(演習)	○小田 勝	教授	博士(文学・國學院大學)	
日本古代語特殊研究B I	(演習)	○小田 勝	教授	博士(文学・國學院大學)	
日本古代語特殊研究A II	(演習)	○吉田 永弘	教授	博士(文学・國學院大學)	
日本古代語特殊研究B II	(演習)	○吉田 永弘	教授	博士(文学・國學院大學)	
日本近代語特殊研究A	(演習)	○諸星 美智直	教授	博士(文学・國學院大學)	
日本近代語特殊研究B	(演習)	○諸星 美智直	教授	博士(文学・國學院大學)	
日本現代語特殊研究A	(演習)	○三井 はるみ	教授	博士(文学・東北大学)	
日本現代語特殊研究B	(演習)	○三井 はるみ	教授	博士(文学・東北大学)	
中国文学特殊研究A I	(演習)	○石本 道明	教授		
中国文学特殊研究B I	(演習)	○石本 道明	教授		
中国文学特殊研究A II	(演習)	○立石 展大	教授	博士(文学・國學院大學)	
中国文学特殊研究B II	(演習)	○立石 展大	教授	博士(文学・國學院大學)	
中国文学特殊研究A III	(演習)	○浅野 春二	教授(特別専任)	博士(文学・國學院大學)	
中国文学特殊研究B III	(演習)	○浅野 春二	教授(特別専任)	博士(文学・國學院大學)	
中国文学特殊研究A IV	(演習)				休講
中国文学特殊研究B IV	(演習)				休講
伝承文学特殊研究A I	(演習)				休講
伝承文学特殊研究B I	(演習)				休講
伝承文学特殊研究A II	(演習)	○伊藤 龍平	教授	博士(文学・國學院大學)	
伝承文学特殊研究B II	(演習)	○伊藤 龍平	教授	博士(文学・國學院大學)	
伝統芸能特殊研究A	(演習)	○大石 泰夫	教授	博士(文学・國學院大學)	
伝統芸能特殊研究B	(演習)	○大石 泰夫	教授	博士(文学・國學院大學)	
民俗学特殊研究A I	(演習)	○服部 比呂美	教授	博士(民俗学・國學院大學)	
民俗学特殊研究B I	(演習)	○服部 比呂美	教授	博士(民俗学・國學院大學)	
民俗学特殊研究A II	(演習)				休講
民俗学特殊研究B II	(演習)				休講
民俗学特殊研究A III	(演習)				休講
民俗学特殊研究B III	(演習)				休講
国語教育実践特殊研究A I	(演習)	○高山 実佐	教授		
国語教育実践特殊研究B I	(演習)	○高山 実佐	教授		
国語教育実践特殊研究A II	(演習)	○齋藤 智哉	教授		
国語教育実践特殊研究B II	(演習)	○齋藤 智哉	教授		
日本語教育特殊研究A I	(演習)	○諸星 美智直	教授	博士(文学・國學院大學)	
日本語教育特殊研究B I	(演習)	○諸星 美智直	教授	博士(文学・國學院大學)	
日本語教育特殊研究A II	(演習)	○植松 容子	准教授	博士(教育学・広島大学)	
日本語教育特殊研究B II	(演習)	○植松 容子	准教授	博士(教育学・広島大学)	
日本語教育特殊研究A III	(演習)	○菊地 康人	客員教授		
日本語教育特殊研究B III	(演習)	○菊地 康人	客員教授		

博士後期課程〔文学研究科／史学専攻〕

注) ○印を付した教員は令和8年度の論文指導演習担当者(指導教員)

授業科目名	区分	教員名	職名	学位	備考
日本古代史特殊研究AⅠ	(演習)	○佐藤長門	教授	博士(歴史学・國學院大學)	
日本古代史特殊研究BⅠ	(演習)	○佐藤長門	教授	博士(歴史学・國學院大學)	
日本古代史特殊研究AⅡ	(演習)				休講
日本古代史特殊研究BⅡ	(演習)				休講
日本中世史特殊研究AⅠ	(演習)	○高橋秀樹	教授	博士(史学・学習院大学)	
日本中世史特殊研究BⅠ	(演習)	○高橋秀樹	教授	博士(史学・学習院大学)	
日本中世史特殊研究AⅡ	(演習)	○矢部健太郎	教授	博士(歴史学・國學院大學)	
日本中世史特殊研究BⅡ	(演習)	○矢部健太郎	教授	博士(歴史学・國學院大學)	
日本近世史特殊研究AⅠ	(演習)	○吉岡孝	教授	博士(歴史学・國學院大學)	
日本近世史特殊研究BⅠ	(演習)	○吉岡孝	教授	博士(歴史学・國學院大學)	
日本近世史特殊研究AⅡ	(演習)				休講
日本近世史特殊研究BⅡ	(演習)				休講
日本近現代史特殊研究AⅠ	(演習)	○樋口秀実	教授	博士(歴史学・國學院大學)	
日本近現代史特殊研究BⅠ	(演習)	○樋口秀実	教授	博士(歴史学・國學院大學)	
日本近現代史特殊研究AⅡ	(演習)	○多和田真理子	教授		
日本近現代史特殊研究BⅡ	(演習)	○多和田真理子	教授		
日本近現代史特殊研究AⅢ	(演習)	○手塚雄太	教授	博士(歴史学・國學院大學)	
日本近現代史特殊研究BⅢ	(演習)	○手塚雄太	教授	博士(歴史学・國學院大學)	
宗教史料学特殊研究A	(演習)				休講
宗教史料学特殊研究B	(演習)				休講
歴史地理学特殊研究A	(演習)	○川名禎	准教授	博士(歴史学・國學院大學)	
歴史地理学特殊研究B	(演習)	○川名禎	准教授	博士(歴史学・國學院大學)	
比較地誌学特殊研究A	(演習)				休講
比較地誌学特殊研究B	(演習)				休講
地図学特殊研究A	(演習)	○吉田敏弘	客員教授		
地図学特殊研究B	(演習)	○吉田敏弘	客員教授		
東洋史特殊研究AⅠ	(演習)	○江川式部	准教授	博士(史学・明治大学)	
東洋史特殊研究BⅠ	(演習)	○江川式部	准教授	博士(史学・明治大学)	
東洋史特殊研究AⅡ	(演習)				休講
東洋史特殊研究BⅡ	(演習)				休講
東アジア史特殊研究A	(演習)				休講
東アジア史特殊研究B	(演習)				休講
西洋史特殊研究AⅠ	(演習)	○神長英輔	教授	博士(学術・東京大学)	
西洋史特殊研究BⅠ	(演習)	○神長英輔	教授	博士(学術・東京大学)	
西洋史特殊研究AⅡ	(演習)				休講
西洋史特殊研究BⅡ	(演習)				休講
比較文化史特殊研究A	(演習)				休講
比較文化史特殊研究B	(演習)				休講
日本考古学特殊研究A	(演習)				休講
日本考古学特殊研究B	(演習)				休講
先史考古学特殊研究A	(演習)	○谷口康浩	准教授	博士(歴史学・國學院大學)	
先史考古学特殊研究B	(演習)	○谷口康浩	准教授	博士(歴史学・國學院大學)	
歴史考古学特殊研究A	(演習)	○青木敬	教授	博士(歴史学・國學院大學)	
歴史考古学特殊研究B	(演習)	○青木敬	教授	博士(歴史学・國學院大學)	

授業科目名	区分	教員名	職名	学位	備考
外国考古学特殊研究 A	(演習)				休講
外国考古学特殊研究 B	(演習)				休講
考古学特殊研究 A	(演習)				休講
考古学特殊研究 B	(演習)				休講
美学特殊研究 A	(演習)	○岡本源太	教授	博士(人間・環境学・京都大学)	
美学特殊研究 B	(演習)	○岡本源太	教授	博士(人間・環境学・京都大学)	
美術史特殊研究 A I	(演習)	○三浦篤	教授	博士(美術史・考古学・パリ第4大学)	
美術史特殊研究 B I	(演習)	○三浦篤	教授	博士(美術史・考古学・パリ第4大学)	
美術史特殊研究 A II	(演習)	○藤澤紫	教授	博士(哲学・学習院大学)	
美術史特殊研究 B II	(演習)	○藤澤紫	教授	博士(哲学・学習院大学)	
美術史特殊研究 A III	(演習)	○小池寿子	客員教授		
美術史特殊研究 B III	(演習)	○小池寿子	客員教授		
比較芸術学特殊研究 A	(演習)				休講
比較芸術学特殊研究 B	(演習)				休講
芸術学特殊研究 A	(演習)				休講
芸術学特殊研究 B	(演習)				休講
資料保存展示論特殊研究 A I	(演習)	○内川隆志	教授		
資料保存展示論特殊研究 B I	(演習)	○内川隆志	教授		
資料保存展示論特殊研究 A II	(演習)	○山本哲也	教授		
資料保存展示論特殊研究 B II	(演習)	○山本哲也	教授		
地域博物館論特殊研究 A	(演習)	○山本哲也	教授		
地域博物館論特殊研究 B	(演習)	○山本哲也	教授		
博物館学特殊実習 A I	(実習)	○内川隆志	教授		オムニバス(内川・大東・深澤)
博物館学特殊実習 B I	(実習)	○内川隆志	教授		オムニバス(内川・大東・深澤)
博物館学特殊実習 A II	(実習)	○内川隆志	教授		インターンシップ
博物館学特殊実習 B II	(実習)	○内川隆志	教授		インターンシップ

博士後期課程〔法学研究科／法律学専攻〕

注) ○印を付した教員は令和8年度の論文指導演習担当者(指導教員)

授業科目名	区分	教員名	職名	学位	備考
法 哲 学 研 究 A	(講義)				休講
法 哲 学 研 究 B	(講義)				休講
日 本 法 制 史 研 究 A	(講義)	○長 又 高 夫	教 授	博士(法学・國學院大學)	
日 本 法 制 史 研 究 B	(講義)	○長 又 高 夫	教 授	博士(法学・國學院大學)	
日 本 法 制 史 研 究 A	(講義)				休講
日 本 法 制 史 研 究 B	(講義)				休講
東 洋 法 制 史 研 究 A	(講義)	速 水 大	兼 任 講 師	博士(歴史学・國學院大學)	
東 洋 法 制 史 研 究 B	(講義)	速 水 大	兼 任 講 師	博士(歴史学・國學院大學)	
西 洋 法 制 史 研 究 A	(講義)	松 本 英 実	兼 任 講 師	博士(法学・パリ第2大学)	
西 洋 法 制 史 研 究 B	(講義)	松 本 英 実	兼 任 講 師	博士(法学・パリ第2大学)	
外 国 法 研 究 A	(講義)				休講
外 国 法 研 究 B	(講義)	○捧 剛	教 授		
外 国 法 実 践 研 究	(講義)	○捧 剛	教 授		
憲 法 研 究 A	(講義)	○植 村 勝 慶	教 授		
憲 法 研 究 B	(講義)				休講
憲 法 実 践 研 究	(講義)	○植 村 勝 慶	教 授		
憲 法 研 究 A	(講義)				休講
憲 法 研 究 B	(講義)	○平 地 秀 哉	教 授		
憲 法 実 践 研 究	(講義)	○平 地 秀 哉	教 授		
憲 法 研 究 A	(講義)	○福 岡 英 明	教 授	博士(法学・中央大学)	
憲 法 研 究 B	(講義)				休講
憲 法 実 践 研 究	(講義)	○福 岡 英 明	教 授	博士(法学・中央大学)	
行 政 法 研 究 A	(講義)				休講
行 政 法 研 究 B	(講義)				休講
行 政 法 実 践 研 究	(講義)	○高 橋 信 行	教 授	博士(法学・東京大学)	
行 政 法 研 究 A	(講義)	○川 合 敏 樹	教 授		
行 政 法 研 究 B	(講義)				休講
行 政 法 実 践 研 究	(講義)	○川 合 敏 樹	教 授		
国 際 法 研 究 A	(講義)				休講
国 際 法 研 究 B	(講義)	江 藤 淳 一	兼 任 講 師		
国 際 法 実 践 研 究	(講義)	江 藤 淳 一	兼 任 講 師		
刑 法 研 究 A	(講義)	山 下 裕 樹	兼 任 准 教 授	博士(法学・関西大学)	
刑 法 研 究 B	(講義)	山 下 裕 樹	兼 任 准 教 授	博士(法学・関西大学)	
刑 法 実 践 研 究	(講義)				休講
刑 法 研 究 A	(講義)	○甘 利 航 司	教 授	博士(法学・一橋大学)	
刑 法 研 究 B	(講義)				休講
刑 法 実 践 研 究	(講義)	○甘 利 航 司	教 授	博士(法学・一橋大学)	
刑 事 訴 訟 法 研 究 A	(講義)	○中 川 孝 博	教 授	博士(法学・一橋大学)	
刑 事 訴 訟 法 研 究 B	(講義)	○中 川 孝 博	教 授	博士(法学・一橋大学)	
刑 事 政 策 研 究 A	(講義)	○安 田 恵 美	教 授	博士(法学・大阪市立大学)	
刑 事 政 策 研 究 B	(講義)	○安 田 恵 美	教 授	博士(法学・大阪市立大学)	
民 法 研 究 A	(講義)				休講
民 法 研 究 B	(講義)	○佐 藤 秀 勝	教 授	博士(法学・一橋大学)	
民 法 実 践 研 究	(講義)	○佐 藤 秀 勝	教 授	博士(法学・一橋大学)	

授業科目名	区分	教員名	職名	学位	備考
民法研究 A	(講義)				休講
民法研究 B	(講義)				休講
民法研究 A	(講義)				休講
民法研究 B	(講義)	古賀 絢子	兼任准教授		
民法実践研究	(講義)	古賀 絢子	兼任准教授		
民法研究 A	(講義)				休講
民法研究 B	(講義)				休講
民法研究 A	(講義)	○一木 孝之	教授	博士(法学・早稲田大学)	
民法研究 B	(講義)				休講
民法実践研究	(講義)	○一木 孝之	教授	博士(法学・早稲田大学)	
民法研究 A	(講義)				休講
民法研究 B	(講義)				休講
民法実践研究	(講義)				休講
民事訴訟法研究 A	(講義)	○佐古田 真紀子	教授		
民事訴訟法研究 B	(講義)	○佐古田 真紀子	教授		
民事訴訟法研究 A	(講義)	大江 毅	兼任准教授		
民事訴訟法研究 B	(講義)	大江 毅	兼任准教授		
商法研究 A	(講義)	○鈴木 達次	教授		
商法研究 B	(講義)				休講
商法実践研究	(講義)	○鈴木 達次	教授		
商法研究 A	(講義)	○森川 隆	教授		
商法研究 B	(講義)	○森川 隆	教授		
商法研究 A	(講義)				休講
商法研究 B	(講義)	○中曾根 玲子	教授		
商法実践研究	(講義)	○中曾根 玲子	教授		
労働法研究 A	(講義)				休講
労働法研究 B	(講義)	○本久 洋一	教授		
労働法実践研究	(講義)	○本久 洋一	教授		
国際私法研究 A	(講義)				休講
国際私法研究 B	(講義)				休講
政治学研究 A	(講義)	上神 貴佳	兼任講師	博士(法学・東京大学)	
政治学研究 B	(講義)	上神 貴佳	兼任講師	博士(法学・東京大学)	
政治学研究 A	(講義)				休講
政治学研究 B	(講義)				休講
政治学研究 A	(講義)	○山本 健太郎	教授	博士(学術・東京大学)	
政治学研究 B	(講義)	○山本 健太郎	教授	博士(学術・東京大学)	
政治学研究 A	(講義)	○藤嶋 亮	教授	博士(法学・東京大学)	
政治学研究 B	(講義)	○藤嶋 亮	教授	博士(法学・東京大学)	
政治学実践研究	(講義)				休講
行政学研究 A	(講義)	○稲垣 浩	教授	博士(政治学・東京都立大学)	
行政学研究 B	(講義)	○稲垣 浩	教授	博士(政治学・東京都立大学)	
西洋政治史研究 A	(講義)				休講
西洋政治史研究 B	(講義)				休講
日本政治史研究 A	(講義)	○坂本 一登	教授	法学博士(東京都立大学)	
日本政治史研究 B	(講義)	○坂本 一登	教授	法学博士(東京都立大学)	
西洋政治思想史研究 A	(講義)	○菊田 真司	教授		
西洋政治思想史研究 B	(講義)	○菊田 真司	教授		

授業科目名	区分	教員名	職名	学位	備考
日本政治思想史研究 A	(講義)	小原 薫	兼任准教授		
日本政治思想史研究 B	(講義)	小原 薫	兼任准教授		
国際関係史研究 A	(講義)	川嶋 周一	兼任講師	博士(法学・北海道大学)	
国際関係史研究 B	(講義)	川嶋 周一	兼任講師	博士(法学・北海道大学)	
国際政治研究 A	(講義)	石田 憲	兼任講師	博士(法学・東京大学)	
国際政治研究 B	(講義)	石田 憲	兼任講師	博士(法学・東京大学)	
公共政策演習 B	(演習)				未定
公共政策演習 B	(演習)	松尾 聖司	兼任講師		
法律学特殊研究 A	(演習)	○廣瀬 美佳	教授		
法律学特殊研究 B	(演習)	○廣瀬 美佳	教授		
法律学特殊研究 A	(演習)				休講
法律学特殊研究 B	(演習)				休講
法律学特殊研究 A	(演習)	小川 亮	兼任准教授	博士(法学・東京大学)	
法律学特殊研究 B	(演習)	小川 亮	兼任准教授	博士(法学・東京大学)	
法律学特殊研究 A	(演習)	○高内 寿夫	教授	法学博士(國學院大學)	
法律学特殊研究 B	(演習)	○高内 寿夫	教授	法学博士(國學院大學)	
法律学特殊研究 A	(演習)	川村 尚子	兼任准教授		
法律学特殊研究 B	(演習)	川村 尚子	兼任准教授		
政治学特殊研究 A	(演習)	羅 芝賢	兼任准教授	博士(法学・東京大学)	
政治学特殊研究 B	(演習)	羅 芝賢	兼任准教授	博士(法学・東京大学)	
キャリア・プランニング A	(演習)	荻野 徹	兼任講師		
キャリア・プランニング B	(演習)	前田 順一郎	兼任講師		

博士後期課程〔經濟学研究科／經濟學專攻〕

授業科目名	区分	教員名	職名	学位	備考
理論經濟學研究 A I	(講義)	細谷 圭	教授	博士(經濟學・一橋大學)	
理論經濟學研究 B I	(講義)	細谷 圭	教授	博士(經濟學・一橋大學)	
理論經濟學研究 A II	(講義)				休講
理論經濟學研究 B II	(講義)				休講
經濟學史研究 A I	(講義)				休講
經濟學史研究 B I	(講義)	尾近 裕幸	教授		
貨幣金融研究 A I	(講義)				休講
貨幣金融研究 B I	(講義)	木村 秀史	教授	博士(經濟學・國學院大學)	
貨幣金融研究 A II	(講義)	齊藤 誠	教授	Ph.D.(Economics・Massachusetts Institute of Technology)	
貨幣金融研究 B II	(講義)				休講
財政學研究 A I	(講義)	櫻井 潤	教授	博士(經濟學・中央大學)	
財政學研究 B I	(講義)				休講
財政學研究 A II	(講義)				休講
財政學研究 B II	(講義)	根岸 毅宏	教授	博士(經濟學・國學院大學)	
經濟政策研究 A I	(講義)				休講
經濟政策研究 B I	(講義)				休講
經濟政策研究 A II	(講義)				休講
經濟政策研究 B II	(講義)	林 行成	教授		
經濟政策研究 A III	(講義)				休講
經濟政策研究 B III	(講義)				休講
經濟政策研究 A IV	(講義)	山本 健太	教授	博士(理学・東北大學)	
經濟政策研究 B IV	(講義)				休講
國際經濟研究 A I	(講義)				休講
國際經濟研究 B I	(講義)	高橋 克秀	教授		
國際經濟研究 A II	(講義)	中馬 祥子	教授		
國際經濟研究 B II	(講義)				休講
國際經濟研究 A III	(講義)				休講
國際經濟研究 B III	(講義)	細井 長	教授	博士(經營學・立命館大學)	
社會政策研究 A I	(講義)	水無田 氣流	教授		
社會政策研究 B I	(講義)				休講
社會政策研究 A II	(講義)				休講
社會政策研究 B II	(講義)				休講
社會政策研究 A III	(講義)				休講
社會政策研究 B III	(講義)	小木曾 道夫	教授	文學博士(上智大學)	
社會政策研究 A IV	(講義)				休講
社會政策研究 B IV	(講義)	田原 裕子	教授	博士(學術・東京大學)	
社會政策研究 A V	(講義)				休講
社會政策研究 B V	(講義)	大西 祥惠	教授	博士(經濟學・大阪市立大學)	
統計學研究 A	(講義)	高木 康順	准教授		
統計學研究 B	(講義)				休講
經濟史研究 A I	(講義)	杉山 里枝	教授	博士(經濟學・東京大學)	
經濟史研究 B I	(講義)				休講
經濟史研究 A II	(講義)	尾崎 麻弥子	准教授		
經濟史研究 B II	(講義)				休講

授業科目名	区分	教員名	職名	学位	備考
計量経済学研究 A	(講義)				休講
計量経済学研究 B	(講義)	高木康順	准教授		
経営学研究 A I	(講義)	尾田基	教授	博士(商学・一橋大学)	
経営学研究 B I	(講義)	尾田基	教授	博士(商学・一橋大学)	
経営学研究 A II	(講義)	星野広和	教授	博士(経営学・東北大学)	
経営学研究 B II	(講義)				休講
経営学研究 A III	(講義)	小野正人	教授	博士(経済学・國學院大學)	
経営学研究 B III	(講義)				休講
経営学研究 A IV	(講義)				休講
経営学研究 B IV	(講義)				休講
経営学研究 A V	(講義)	藤山圭	准教授		
経営学研究 B V	(講義)				休講
経営学研究 A VI	(講義)	芳賀英明	准教授		
経営学研究 B VI	(講義)				休講
経営学研究 A VII	(講義)				休講
経営学研究 B VII	(講義)	宮下雄治	教授	博士(経済学・國學院大學)	
経営学研究 A VIII	(講義)	手塚貞治	教授	博士(学術・東京大学)	
経営学研究 B VIII	(講義)				休講
経営学研究 A IX	(講義)				休講
経営学研究 B IX	(講義)	鈴木智之	教授	博士(工学・東京工業大学)	
会計学研究 A I	(講義)				休講
会計学研究 B I	(講義)				休講
会計学研究 A II	(講義)				休講
会計学研究 B II	(講義)				休講
会計学研究 A III	(講義)	中田有祐	准教授		
会計学研究 B III	(講義)				休講
経営史研究 A	(講義)				休講
経営史研究 B	(講義)				休講

注1) 実際に指導可能な教員の一覧は、[大学HP](#) (大学院入試情報) 上の情報が最新かつ正確なものとなりますので、リンク先をご確認ください。

<https://www.kokugakuin.ac.jp/admission/graduate/p1-2>

注2) 客員教授、兼任講師は指導教員になることができません。

[A票]

令和9年度
國學院大學大学院入学志願票
(博士前期課程)

Table with columns: 時期 (秋, 春), 区分 (一般, 外国人, 社会人), 研究科 (文学, 法学, 経済学), 専攻 (神道学・宗教学, 文学, 史学, 法学, 経済学)

※各項目いずれかを○で囲むこと
※必ずコース・分野を記入のこと

Form with fields: 入試コード, フリガナ, 氏名, 生年月日, 現住所, 緊急連絡先, 学部, 大学院

【選択受験科目】

1. 法学研究科 一般入試・外国人入試

- ①P.13「別表1」から専門科目(必須)1科目を記入すること。
②専門科目(選択)を受験する場合、1科目を○で囲む。ただし、各自専攻する法律部門・政治部門の中から必須科目以外を選ぶこと。

Table with columns: 分野 (法律, 政治), ①必須 (専攻希望科目), ②選択 (憲法, 国際法, 刑法, 民法, 行政法, 国際政治, 国際関係史, 刑事政策, 刑事訴訟法, 商法, 労働法, 民事訴訟法, 外国法, 日本法制史, 西洋法制史, 政治学, 行政学, 日本政治史, 西洋政治史, 日本政治思想史, 西洋政治思想史, 国際政治, 国際関係史), ③外国語試験受験の有無 (有・無)

上記③で外国語試験受験の有無で「有」を選択した場合、下記いずれかを○で囲むこと。

Form with options: 英語, 独語, 仏語, 日本語

2. 経済学研究科 一般入試・外国人入試

Form with text: 選択受験科目1科目を○で囲むこと。
※キャリア・コース希望者は「会計学」を選択。
Options: 経済学, 経営学, 会計学

[B票]

令和9年度
國學院大學大学院写真票
(博士前期課程)

Table with columns: 時期 (秋, 春), 区分 (一般, 外国人, 社会人), 専攻 (神道学・宗教学, 文学, 史学, 法学, 経済学)

※各項目いずれかを○で囲むこと

Form with field: コース・分野 (P.22参照)

Form with fields: 入試コード, 受験番号, フリガナ, 氏名, 生年月日

Form with field: 写真添付 (4 cm x 3 cm)

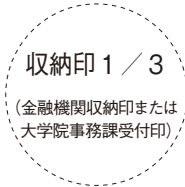
國學院大學 大学院事務課

所在地: 渋谷区東4-10-28
TEL: 03-5466-0142

《検定料の納入方法》

※いずれかに☑を付すこと

- 金融機関を利用 (取扱店の取納印が押されていることを確認してください)
証明書発行サービスを利用 (支払い完了メールの写しを提出してください)



所定用紙①

[D票]

電信扱 振込依頼書 (取扱店保存)

(令和9年度 検定料)

Form with fields: 科目, 依頼日, 振込指定, 電信(普通)扱, 手数料 (金額 ¥350000), 受取人 (預金種目, 口座名), 入試コード, 志願者 (氏名, 住所, TEL)

取扱銀行へのお願い

- 1. A・C・D票(3箇所)に正確に押印のうえ、A~C票を依頼人に返却してください
2. 手数料は指定銀行の場合、とりまとめ店扱い、その他の銀行は本人払いです
3. 入試コード・志願者氏名の順番で打電してください

銀行等取扱店で切り離してください。



所定用紙①

[C票]

振込金兼手数料受領書 本人控

Form with fields: 依頼日, 金融機関 (銀行 支店), 金額 (¥350000), 手数料, 受取人 (コクガクインダイガク 國學院大學), 入試コード, 志願者氏名

上記のとおり領収しました。國學院大學



所定用紙①

銀行等取扱店で切り離してください。

出願時に本人が切り離してください。

【A票】

令和9年度
國學院大學大学院入学志願票
(博士後期課程)

Table with columns: 時期, 区分, 研究科, 専攻, コース・分野 (P.22参照). Includes options for 春季, 一般, 外国人, 社会人, 再入学, etc.

※各項目いずれかを○で囲むこと
※必ずコース・分野を記入のこと

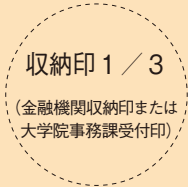
法学研究科 一般入試・外国人入試
※下記いずれかを○で囲むこと
英語 独語 仏語 史料解説

入試コード, フリガナ, 氏名, 生年月日, 現住所, 緊急連絡先, 学部, 学歴

《検定料の納入方法》

※いずれかに☑を付すこと

- 金融機関を利用
証明書発行サービスを利用



所定用紙②

【D票】

電信扱 振込依頼書 (取扱店保存)

(令和9年度 検定料)

科目

Table for remittance details: 依頼日, 金額, 手数料, 受取人, etc.

入試コード, 氏名, 住所, 志願者

取扱銀行へのお願い

- 1. A・C・D票 (3箇所) に正確に押印のうえ、A～C票を依頼人に返却してください
2. 手数料は指定銀行の場合、とりまとめ店扱い、その他の銀行は本人払いです
3. 入試コード・志願者氏名の順番で打電してください

銀行等取扱店で切り離してください。



所定用紙②

【B票】

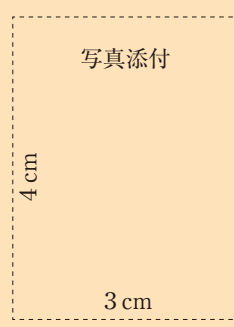
令和9年度
國學院大學大学院写真票
(博士後期課程)

Table with columns: 時期, 区分, 研究科, 専攻. Includes options for 春季, 一般, 外国人, 社会人, 再入学, etc.

※各項目いずれかを○で囲むこと

コース・分野 (P.22参照)

入試コード, 受験番号, フリガナ, 氏名, 生年月日



國學院大學 大学院事務課

所在地: 渋谷区東4-10-28
TEL: 03-5466-0142

所定用紙②

出願時に本人が切り離してください。

【C票】

振込金兼手数料受領書 本人控

Table for receipt details: 依頼日, 金額, 手数料, 受取人, 入試コード, 志願者氏名

上記のとおり領収しました。國學院大學



所定用紙②

## 國學院大學大学院 入学試験 口述調査書

※各項目いづれかを○で囲むこと  
※コース・分野を記入のこと

※外国籍の者は、氏名のフリガナ欄には本国の発音で記載、  
英字欄にはパスポート表記で記載すること。

時 期	区 分	研究科	専 攻
秋 季	一 般	文 学	神道学・宗教学 法学
春 季	外国人	法 学	文 学 経済学
	社会人	経済学	史 学
	再入学		
課 程	コース・分野 (P.22参照)		
博士前期	博士後期		
入試コード		受 験 番 号	
		※大学記入欄	

氏 名	フリガナ				男 ・ 女
	漢 字				
	英 字 (外国人)				
生年月日	昭和・平成 (西暦	年	月	日生[	歳]

写真貼付位置

4cm

3cm

現住所・連絡先	〒 -					
	E-Mail :		TEL :			
出身学校	大学	大学院	学部	研究科	学科	
					専攻	
	昭和・平成・令和	年(西暦	年)	月	日	入学 卒業・修了 卒業・修了見込
	大学	大学院	学部	研究科	学科	
					専攻	
	昭和・平成・令和	年(西暦	年)	月	日	入学 卒業・修了 卒業・修了見込
	大学	大学院	学部	研究科	学科	
					専攻	
	昭和・平成・令和	年(西暦	年)	月	日	入学 卒業・修了 卒業・修了見込
学部在学中の課外活動	学術部門		運動部門		社会部門 (ボランティア等)	
卒業論文・修士論文・研究業績書	提出した (見込みを含む)	論文題目			審査 大学名	
	必要なかった				論文指導 教員名	
上記提出物の要旨						
学部の専門ゼミナール受講歴	受講した	研究テーマ			主たる内容	
	受講しなかった					
	期間	年	月	～	年	
					ゼミナール 指導教員名	
大学院進学理由及び進路希望(具体的に)						

裏面へ続く

※大学記入欄

面接者		評価①		評価②		備考
-----	--	-----	--	-----	--	----

表面から続く

職歴	(会社名)	昭和・平成・令和	年(西暦	年)	月	日	入社
		昭和・平成・令和	年(西暦	年)	月	日	退社
	(会社名)	昭和・平成・令和	年(西暦	年)	月	日	入社
		昭和・平成・令和	年(西暦	年)	月	日	退社
	(会社名)	昭和・平成・令和	年(西暦	年)	月	日	入社
		昭和・平成・令和	年(西暦	年)	月	日	退社

研究歴	(研究機関)	昭和・平成・令和	年(西暦	年)	月	日	から
	(研究内容等)	昭和・平成・令和	年(西暦	年)	月	日	まで
	(研究機関)	昭和・平成・令和	年(西暦	年)	月	日	から
	(研究内容等)	昭和・平成・令和	年(西暦	年)	月	日	まで
	(研究機関)	昭和・平成・令和	年(西暦	年)	月	日	から
	(研究内容等)	昭和・平成・令和	年(西暦	年)	月	日	まで

授与・ 単位修得 (見込み を含む)	教員免許状	中学専修・高校専修 中学1種・高校1種 中学1級・高校2級	〔国語・社会・地理歴史・公民〕 〔書道・商業・( )〕	単位修得大学	専修免許状 の授与希望 の有無	有・無
	資格	博物館学芸員、社会教育主事、図書館司書、図書館司書教諭				
現在の職業 (具体的に)	※ 社会人の場合：正規雇用・非正規雇用 [期間： 年 月 ～ 年 月]					
学費出拠	例：両親からの援助、JASSO奨学金、アルバイト、預貯金					
保証人	氏名			勤務先		
	本人との続柄					
	現住所	〒 -		勤務地	〒 -	
		TEL :			TEL :	

※保証人は日本国内の在住者とする。

入試コード					
文学研究科 研究計画書					
フリガナ 氏名					
課程	博士（前期・後期） ※上記いずれかを選択	希望の専攻			
		希望コース・分野			
研究テーマ					
<p>*横書き40字×50行=2,000字程度で作成してください。</p> <p>*作成後、空白行は詰めてください。また、行数・ページ数は必要に応じて適宜追加してください。</p>					



入試コード				
<b>法学研究科 研究計画書</b>				
フリガナ 氏 名				
課程・コース ※希望項目の右欄に○ をつけてください。	博士前期課程	研究コース		
		公務員コース		
	博士後期課程			
専攻科目				
希望指導教員	※指導を希望する教員がいる場合に記入してください。			
研究テーマ				
<p>※1 博士前期課程・研究コースを志望する者は、研究内容・問題の所在・研究計画・先行研究の概要などを2,000字程度で具体的に記述すること。</p> <p>※2 博士前期課程・公務員養成コースを志望する者は、研究内容・問題の所在・研究計画などを1,000字程度で記述すること。</p> <p>※3 博士後期課程を志望する者は、研究内容・問題の所在・研究計画・先行研究の概要などを8,000字程度で具体的に記述すること。</p>				



入試コード					
<b>経済学研究科 研究計画書</b>					
フリガナ 氏 名					
課 程	博士（ <u>前期・後期</u> ） ※上記いずれかを選択	希望の研究分野			
希望指導教員					
研究テーマ					
*横書き40字×50行=2,000字程度で作成してください。					







入試コード					
-------	--	--	--	--	--

## 修士論文要旨

博士後期課程：文学研究科 一般入試・外国人入試

フリガナ 氏 名	
-------------	--

希望研究分野	
--------	--

修士論文題目	
--------	--

\*横書き40字×50行=2,000字程度で作成してください。

--



[博士後期課程:社会人入試]

# 研究業績書

研究科	専攻	コース・分野	
入試コード	受験番号	氏名	評価
	※大学記入欄		

SEQ	主な業績（単共著・論文・ 研究報告書等）の題目 [5点以内]	研究業績の概要	発行機関 発行所 発表会場	発表 年月日
1				
2				
3				

[博士後期課程:社会人入試]  
研究業績書

4				
5				

受験番号: \_\_\_\_\_ (※大学記入欄)

年 月 日

日本語で記入すること

Please write below in Japanese

國學院大學大学院入学試験  
外国籍調査書（兼 入学資格審査調査書）

I. 志願者 (Applicant Information)

パスポート氏名 Name as Shown on Passport	姓 Family Name / 名 Given Name	性別 Sex	男 Male / 女 Female
		国籍 Nationality	
漢字氏名		配偶者の有無 Marital Status	未婚 / 既婚 Single / Married
カナ氏名		生年月日 Date of Birth	年齢 Age
メールアドレス Email		電話番号 Phone Number	
在留資格 Present Status of Residence		在留期限 Expiration Date	
現住所 Address in Japan			
本国の住所 Address in Your Home Country			
留学費用の出拠 Sources of your Fund for Tuition and Life in Japan			

II. 志望内容 (Requested Details) \*希望内容を○で囲む Circle the desired option (○).

1. 課程	博士前期課程 Master's Course (M.A.) / 博士後期課程 Doctoral Course (Ph.D.)
2. 研究科・専攻・コース (School・Major Field・Course)	
◆ 文学研究科 Graduate School of Letters	
①神道学・宗教学専攻 Shinto Studies and Religious Studies Major	
②文学専攻：日本文学 / 日本語学 / 中国文学 / 伝承文学 / 高度国語・日本語教育 Literature Major: Japanese Literature / Japanese Language Studies / Chinese Literature / Folk Tradition Studies / Advanced Japanese Language and Japanese Education	
③史学専攻：日本史学 / 外国史学 / 考古学 / 美学美術史 / 博物館学 History Major: Japanese History / World History / Archaeology / Aesthetics and Art History / Museology	
◆ 法学研究科 Graduate School of Law	④法律学専攻 Law Major
◆ 経済学研究科 Graduate School of Economics	⑤経済学専攻 Economics Major
3. 大学院における主な研究課題 Main Topic / Focus of Your Study and Research	

## 日本語で記入すること

Please write below in Japanese

### Ⅲ. 学歴 (Educational Background)

通学したすべての学校（小学校、日本語学校等を含む）を年代順に記入すること。

List all the schools you have attended in chronological order from the old ones to new ones.

在学期間 Period of Attendance		修業年限 Number of Years Attended	学 校 名 Name of School	学部・学科 Department	所在地(国・市) Location (Country, City)	学位 Degree or Diploma
from	to					

### Ⅳ. 職歴 (Work Experience)

長期アルバイト（6ヶ月以上）や兵役を含めて記入すること。

Part-time jobs for more than six months and military service should be included in the list.

在職期間 Period of Employment	勤務先名 Place of Employment	職 名 Job Title	所在地 (国・市) Location (Country, City)
～			
～			
～			
～			
～			

### Ⅴ. 語学力 (Language Skills) \* 該当の欄に○を記入 Mark the applicable field with a circle (○).

母語 First Language (                    ) 語	日本語能力 Proficiency of Japanese Language				英語能力 Proficiency of English Language			
	優 Excellent	良 Good	可 Fair	不可 Poor	優 Excellent	良 Good	可 Fair	不可 Poor
読解力 Reading								
会話力 Speaking								
文章作成能力 Writing								
理解力 Comprehension								

入試コード				
-------	--	--	--	--

## 文学研究科 専攻コース別課題

一般入試・外国人入試・社会人入試

フリガナ 氏 名			
-------------	--	--	--

課 程	博士（前期・後期） ※上記いずれかを選択	希望の専攻	
		希望コース・分野	

研究テーマ			
-------	--	--	--

- \*大学院学生募集要項に掲載されている、各課程の課題一覧の指定内容を確認のうえで作成してください。
- \*作成後、空白行は詰めてください。また、行数・ページ数は必要に応じて適宜追加してください。



入試コード				
-------	--	--	--	--

**選考調書** (文学研究科 神道学・宗教学専攻 / 文学専攻：一般入試・外国人入試・社会人入試)

課程	専攻	コース・分野	フリガナ	
博士 前期・後期	神道学・宗教学 / 文学		氏 名	
I 大学院進学後の展望	(1) 志望理由と進学後のビジョンについて			
	<p>本学大学院を選んだ理由と進学後に達成したい目標について、<u>具体的に記入してください</u>。(300字程度)</p>			
	(2) 進学後の研究計画について、以下①～⑥の項目を <u>具体的に記入してください</u> 。			
	①研究課題について (300字程度)			
	②当該研究を着想した背景・動機について (300字程度)			
	③当該研究の特色について (300字程度)			
	④研究分野における当該研究の位置づけについて (300字程度)			
⑤研究方法について (300字程度)				
⑥研究計画について (300字程度) *段階に分けて具体的に記入してください。				

(1) 卒業論文等に関して

研究の特色、着眼点について具体的に記入してください。(1,000字程度)

(2) 自己の資質について

①研究における主体性 (100字程度)

②専門知識・技量 (100字程度)

③コミュニケーション能力 (100字程度)

④専門に関わる資格・免許取得 (100字程度)

⑤留学・飛び級・表彰・社会活動等 (100字程度)

※長期履修制度に関する詳細は、[大学HP](#)（大学院入試/大学院学生募集要項）からご確認ください。

令和 年 月 日

入試コード				
-------	--	--	--	--

國學院大學（文学・法学・経済学）研究科委員長 殿

## 長期履修申請書

希望所属	博士前期課程：	研究科	専攻	コース
氏名				
生年月日	昭和・平成	年	月	日 [満 歳]

### 希望する長期履修期間

令和9年4月1日 ~ 令和 年3月31日（3年修了生・4年修了生）
-----------------------------------

### 申請理由


【添付書類】上記の申請理由を証明する書類を本書と併せて提出してください。

例：（仕事を理由とする場合）在職証明書、（出産・育児を理由とする場合）母子手帳の写し、  
（障がいを理由とする場合）障害者手帳の写し

### 研究計画

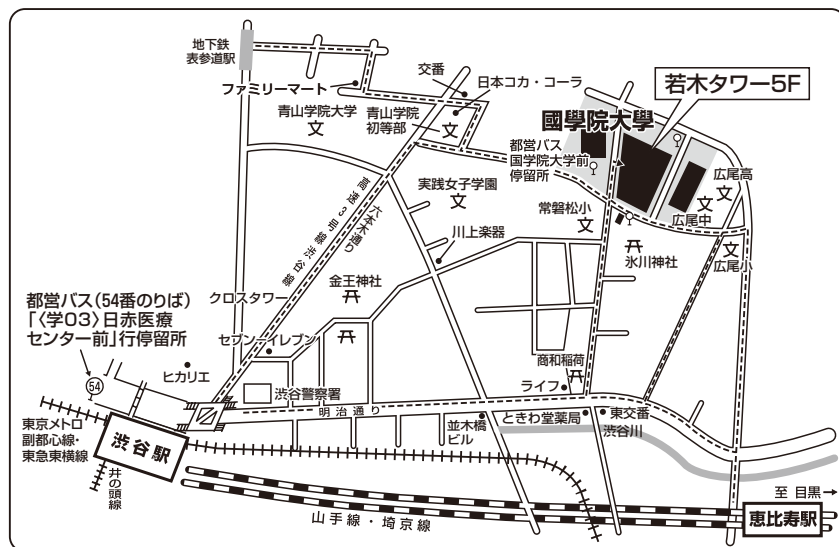
〈在学期間を通して〉
〈1年目〉
〈2年目〉
〈3年目〉
〈4年目〉

※4年修了希望者のみ記入

### ※大学記入欄

提出の別	窓口（本人・保証人・代理人） / 郵送	事務課長	⑩
受理日	令和 年 月 日	受理者：	
長期履修承認日	令和 年 月 日	（ _____ 研究科委員会 承認）	

◆渋谷キャンパス



〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28

**國學院大學 大学院事務課**

TEL : 03(5466)0142 [直通]

E-mail : daigakuin-j@kokugakuin.ac.jp

<https://www.kokugakuin.ac.jp/education/fd/graduate/>